

中野区基本計画（改定素案） 【説明資料】

2021年度 ▶ 2025年度（令和3年度～令和7年度）

令和3年（2021年）6月
中野区

目次

基本構想	・・・ 3
基本計画	
基本計画の策定までの流れ	・・・ 4
基本計画（改定素案）のポイント	・・・ 5
第1章 計画の基本的な考え方	・・・ 7
第2章 策定の背景	・・・ 8
区を取り巻く社会状況等の変化	
人口動向・将来人口推計	
財政状況・財政見通し	
第3章 計画の体系	・・・ 15
第4章 重点プロジェクト	・・・ 17
第5章 基本目標別の政策・施策	・・・ 25
第6章 区政運営の基本方針	・・・ 65

本説明資料の下線部分は、基本計画（素案）から（改定素案）への主な変更箇所を示しています。

基本構想

中野のまちの将来像

「つながる はじまる なかの」

- 中野区では、令和3年3月に基本構想を改定しました。
- 基本構想は、中野区に住むすべての人々や、このまちで働き、学び、活動する人々にとって、平和で、より豊かな暮らしを実現するための共通目標であり、また、区が区民の信託に基づき、区政運営を進める上で、最も基本的な指針を示すものです。
- この基本構想では、人々が大切にしたい理念の下、中野のまちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げるとともに、10年後に目指すまちの姿を、4つのまちの姿（基本目標）ごとに描いています。また、あわせて、区政運営の基本方針を示しています。

4つのまちの姿

1

人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち

2

未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち

3

誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち

4

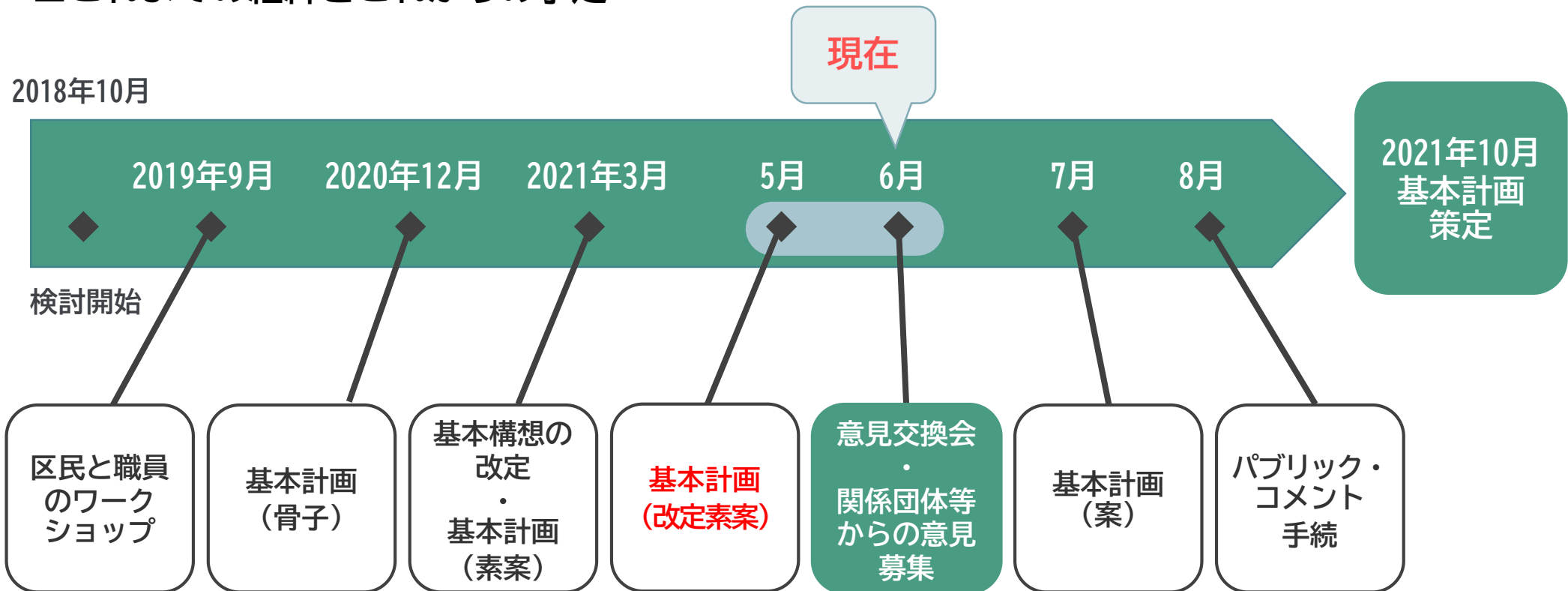
安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち

基本計画の策定までの流れ

策定プロセス

基本構想を実現するための中野区基本計画（以下「基本計画」といいます。）の策定にあたり、より広範な区民の声を反映するため、区民・団体の皆様からご意見を伺う機会を設けています。本年3月に作成した基本計画（素案）に対する様々なご意見を踏まえ、内容を一部見直すとともに、策定時期を8月から10月に変更することになりました。

■これまでの経緯とこれからの予定



基本計画（改定素案）のポイント

① SDGsと基本計画の関係性について追記

- SDGsは、2015年9月に国連サミットで採択された国際社会全体の開発目標であり、国も実施指針を示し、地方自治体における取組の推進を求めており、中野区においても、SDGsの達成へ向けた取組を着実に進めていきます。
- 改定素案では、重点プロジェクトや各政策について、SDGsの17のゴールとの関係を整理し、関連付けを行いました。これにより、SDGsの達成に向けて庁内や他機関との連携を促進するとともに、より多くの区民等への周知につなげていきます。
(本冊P34、38、44、51)

② 地域包括ケア体制の実現について追記

- 重点プロジェクト「2 地域包括ケア体制の実現」に、新型コロナウイルス感染症の影響や地域医療体制の構築について追記しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大による生活や健康への影響も踏まえ、これまで進めてきた医療・介護関係者の情報共有の支援を推進しつつ、切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制を含め地域医療体制の構築を加速させます。
(本冊P44、47、48)

基本計画（改定素案）のポイント

③ 素案に対する意見を踏まえた主な修正

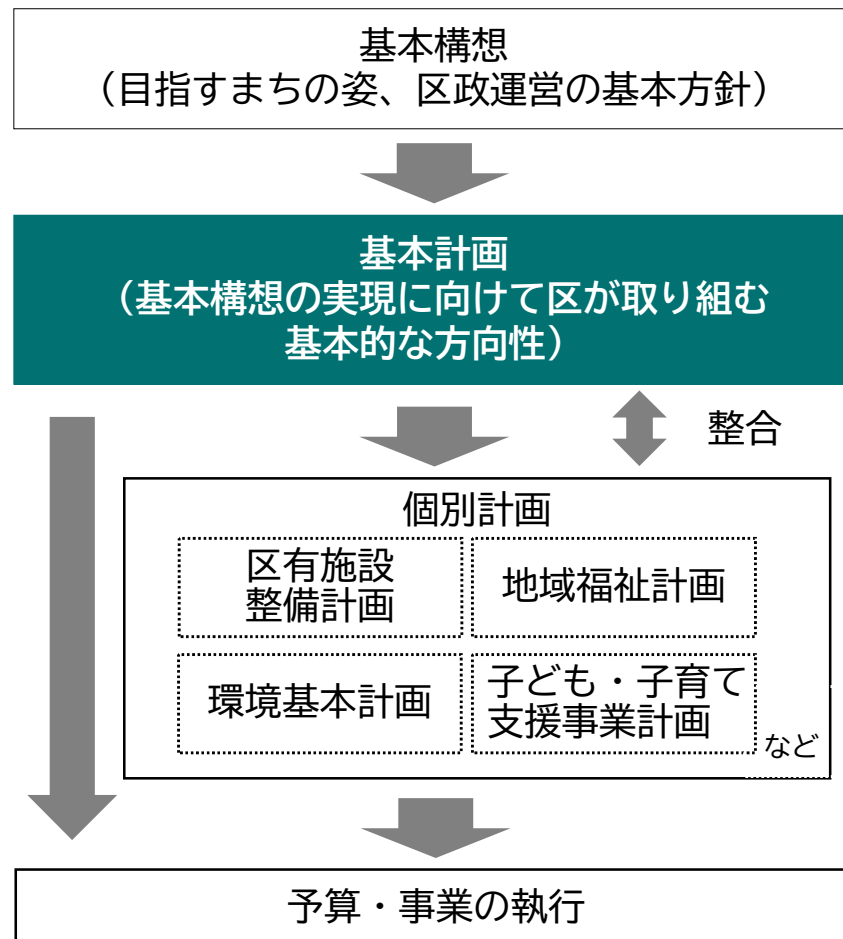
- 改定に係る考え方を修正（第1章 4 計画期間、本冊P5）
- 多世代にわたる人々のつながりや交流を生み出すこと、高齢者の体力や認知機能の低下への対策、区民生活を支える医療・介護の体制の強化について追記（第2章 1 区を取り巻く社会状況等の変化、本冊P9、11）
- 子ども女性比の目標について追記（第2章 2 人口動向・将来人口推計、本冊P19）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による外国人住民の減少について追記、外国人住民等が暮らしやすい生活の支援及び環境の整備に修正（施策2、本冊P72、73）
- 人とまちを知るための情報発信について、情報を収集することを追記（施策3、本冊P77）
- 遊び心あふれる文化芸術の趣旨を追記（施策6、本冊P86）
- シティプロモーションに関する記述を追記（施策7、本冊P91）
- 子どもの最善の利益を考え、区の様々な施策を実施することを追記（施策12、本冊P113）
- インクルーシブ教育のより一層の充実を図ることを追記（施策17、本冊P134）
- 児童館のネットワーク支援機能の強化について追記（施策25、本冊P162）
- 若者の定義を追記（施策26、本冊P166）
- 防災まちづくりについて、新型コロナウイルス感染症の影響に関する記述を追記（施策42、本冊P232）
- 生物多様性の保全に関する記述を追記（施策53、本冊P275～277）

計画の基本的な考え方（本冊P1～5）

策定の趣旨

- 基本構想の実現に向け、その礎となる5年間の区政運営を着実に進めていくために、基本計画を策定します。

基本計画の位置付け



計画期間（2021年度～2025年度）

- 2021年度から2025年度までの5年間を計画期間とします。
- ただし、区を取り巻く社会経済状況が大きく変化した場合や、財政状況及び計画の前期における各施策の実施状況等を踏まえ、後期の見通しがより明確となった段階において、見直しの必要性について再度検討を行った上で、計画期間の終了を待たずに必要に応じて改定を行います。

計画の進行管理

- 政策及び施策を体系化し、各施策においては、その方向性を示すとともに、成果指標や主な取組、事業の展開（前期・概ね2年、後期・概ね3年）を設定しています。
- 計画の改定にあたっては、定期的に目標と現状について検証や評価を行い、それらを総合的に判断し、施策の廃止、統合、追加など必要な見直しを行います。

区を取り巻く社会状況等の変化(本冊P7~12)

(1) 中長期的な人口構造の変化

- 中野区の人口(2021年1月現在334,632人)は、2035年頃までは概ね増加傾向が続き、その後、減少すると推測されます。
- 2025年には団塊世代が後期高齢者となり、超高齢社会は一層進展していきます。
- 中野区は23区の中でも人口に占める年少人口(0~14歳)の割合が低く、0~9歳の転出入の状況を見ると、転出超過の傾向が続いています。

(2) ダイバーシティ(多様性)の進展と地域コミュニティの変化

- 2020年1月には外国人住民が2万人を超え、人口の約6%に達しました。
- 20・30歳代の若年層の転入者が多く、人口の大きな割合を占めており、こうした流動性の高さが中野区の特徴の一つです。
- このように多様な人々が暮らす中野区においては、互いを認め合い、ダイバーシティ(多様性)を尊重する地域社会の形成が求められます。
- また、多様性を尊重し合いながら、将来にわたって持続可能な自治を実現するためにも、子どもから高齢者まで多世代にわたる人々のつながりや交流を生み出していく必要があります。

区を取り巻く社会状況等の変化(本冊P7~12)

(3) デジタル技術の進展と社会全体のデジタルトランスフォーメーション

- 業務等プロセス全体のデジタル化をさらに進め、ICT（情報通信技術）の浸透により生活をより良い方向に変革する「デジタルトランスフォーメーション」への取組が進んでいます。
- デジタル技術の利活用により、デジタルトランスフォーメーションに対応していくことで、行政運営の効率化や住民サービスの向上を図っていく必要があります。

(4) 大規模自然災害の発生

- 中野区は、建物倒壊や延焼に関する災害危険度の高い木造住宅密集地域が多く分布し、狭あい道路も多く存在しています。また、近年の局地的集中豪雨による内水氾濫などの都市型水害も発生しています。
- 災害時における早期の復旧・復興が可能となるまちづくりを進めるとともに、気候変動への適応に向けた取組についても着実に進めていく必要があります。

区を取り巻く社会状況等の変化(本冊P7~12)

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、人々の生活に甚大な影響を及ぼしています。一方で、収束・共生に向け、社会全体の価値観や行動の変化が生まれています。
- 医療・生活・経済を支援する対策を3つの柱として掲げながら、**高齢者の体力や認知機能の低下への対策、区民生活を支える医療・介護の体制の強化**、ICT（情報通信技術）の活用による地域コミュニティと地域活動の活性化など、感染状況や国による対策などの局面にあわせて柔軟な対策を進めていく必要があります。

(6) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

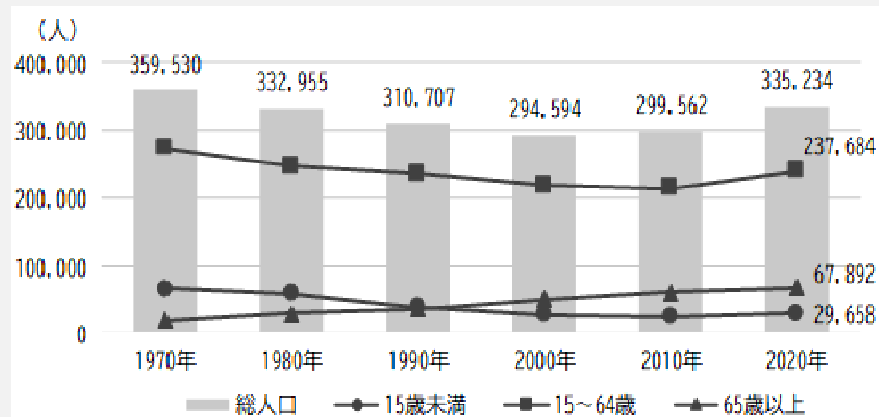
- 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。
- SDGsの実現にあたっては、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する総合的な取組が必要です。
- 基本構想では、「誰一人取り残さない」という考え方や協働・協創の推進など、SDGsに掲げる目標や方向性と同じくするものであることから、各施策の取組を着実に進めていくことが、SDGsの推進につながると考えられます。

人口動向・将来人口推計（本冊P13～20）

人口動向

- 中野区の人口は1970年をピークに減少傾向となり、2000年には30万人を割り込みましたが、その後は増加に転じ、2020年1月時点で335,234人となりました。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響により、2021年1月時点では、総人口334,632人と減少しています。
- 年齢3区分別人口割合をみると、65歳以上の人口は、年々増加しており、おおよそ5人に1人の割合となっています。一方、15歳未満の人口は、減少傾向が続いていましたが、近年は横ばいから微増傾向となっています。

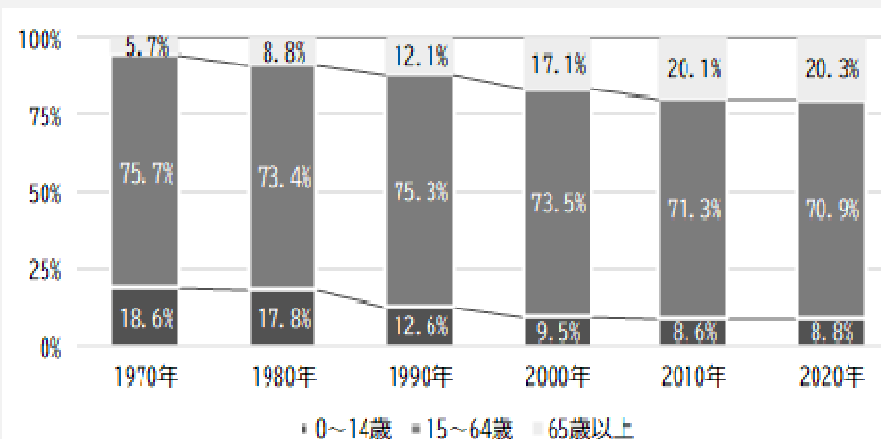
■人口の推移【各年1月1日】



(住民基本台帳より作成)

※住民基本台帳法の一部改正により2013年から外国人を含んでいる。

■年齢3区分別人口割合の推移【各年1月1日】



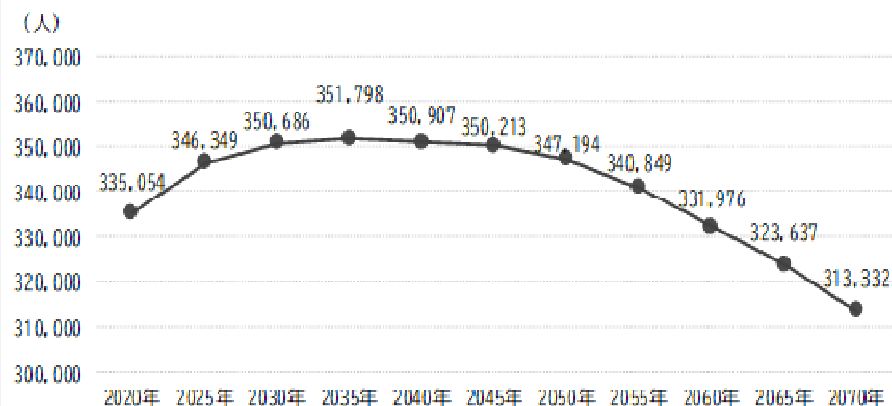
(住民基本台帳より作成)

人口動向・将来人口推計（本冊P13～20）

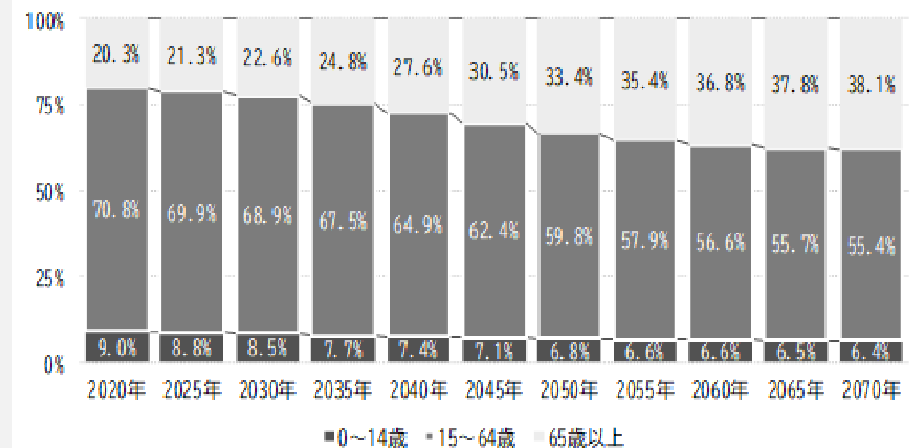
将来人口推計

- 国勢調査や住民基本台帳のデータに基づき、これまでの人口推移や開発の進む中野駅周辺のまちづくりの動向、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、2070年までを見据えて推計を行いました。
- 中野区の総人口は、2035年をピーク(351,798人)に、その後は減少に転じ、2060年には現在の人口を下回り、2070年には313,332人となると見込まれます。
- 年齢3区分別人口では、65歳以上の人口は増加傾向が続き、2050年にはおおよそ3人に1人の割合となると見込まれます。一方で、0～14歳及び15～64歳の人口割合は緩やかに減少すると見込まれます。
- 妊娠・出産、子育て期にあたる20・30歳代が生まれた1980年～1990年代の子ども女性比は、現状値0.135よりも高い水準でした（平均値0.147）。この水準を目指し、さらなる子ども女性比の増加を図るため、安心して子どもを産み、育て、住み続けられる環境を整えるなど、様々な施策等による対策を講じていきます。

■将来人口推計



■年齢3区分別人口の推移予測・割合

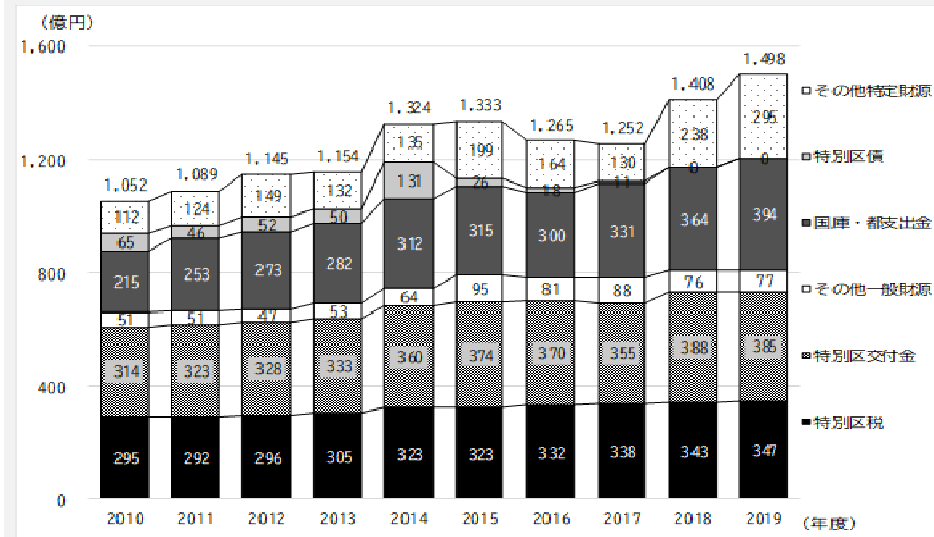


財政状況・財政見通し（本冊P21～30）

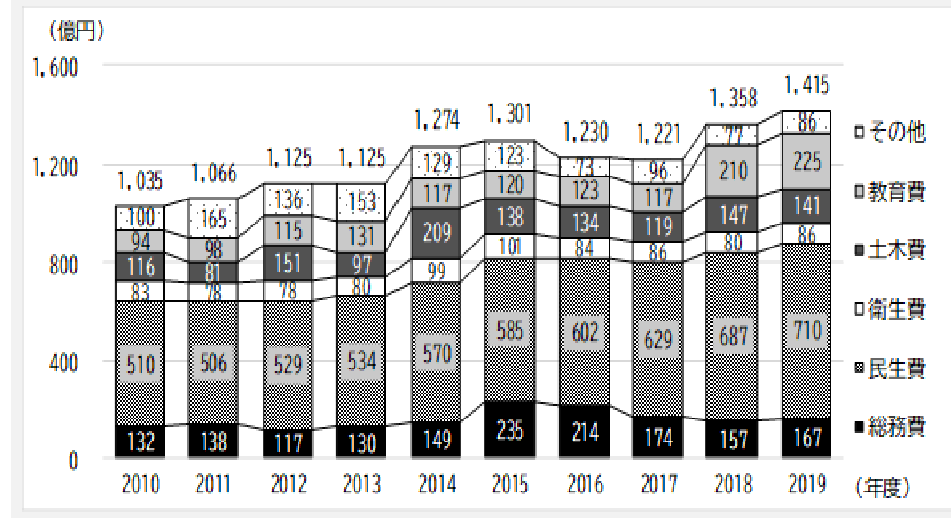
財政状況（歳入・歳出）

- 2019年度決算において、歳入総額は1,498億円で、うち一般財源は809億円となっています。一般財源のうち、特別区税と特別区財政調整交付金は歳入全体の48.9%を占めており、732億円となっています。
- 歳出について目的別にみると、教育費については小中学校施設整備費が増え、民生費については民間保育施設への給付費が増えるなど、増加傾向となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することにより、納税者一人あたりの所得額の減少など歳入への深刻な影響が懸念されます。

■歳入決算額の推移（一般財源・特定財源別）



■歳出決算額の推移（目的別）

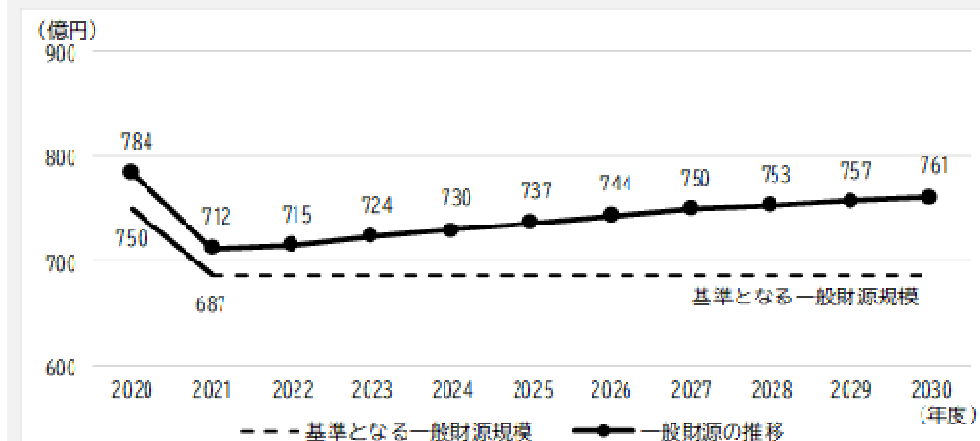


財政状況・財政見通し（本冊P21～30）

財政見通し

- 国の経済見通しや税制改正の影響等を参考に、10年間の一般財源の推移を見込んでいきます。
- 財政運営にあたっては、中野区の「基準となる一般財源規模」を687億円として設定し、経常的な経費の削減に努めるとともに、財政調整基金などの繰入や積立による財源調整を通じて、歳入規模を一定に保つこととします。

■一般財源の推移（想定）



■10年間の財政フレーム(一般財源ベース)の見込み

(単位：億円)

	基本計画		次期・基本計画	計	
	前期	後期			
歳入	特別区税	672	1,026	1,724	3,421
	特別区交付金	658	1,094	1,949	3,701
	その他一般財源	152	235	412	799
	基金繰入金	284	476	554	1,313
	特別区債	193	438	318	949
	財産収入等	46	315	239	600
	歳入合計	2,005	3,585	5,195	10,785
歳出	義務的経費	790	1,430	2,201	4,420
	人件費	416	601	943	1,960
	公債費	38	295	315	647
	扶助費	336	534	943	1,813
	繰出金	185	283	492	960
	一般事業費	424	633	1,055	2,112
	新規・拡充等事業 (うち施設関連経費)	479 (261)	917 (489)	873 (407)	2,270 (1,157)
	基金積立金	127	321	574	1,022
	財政調整基金	52	109	101	261
	減債基金	9	90	143	243
	特定目的基金	66	122	330	518
歳出合計	2,005	3,585	5,195	10,785	

基本構想・基本計画体系図

基本構想	都市像	つながる はじまる なかの			
	まちの姿	人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち	未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち	誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち	安全・安心して住み続けたいくなる持続可能なまち
	区政運営	○ 区民に信頼される対話と参加の区政を進めます ○ 職員力でまちの価値と地域の力を高めます ○ 持続可能な財政運営を進めます ○ 社会の変化を見据えた質の高い行政サービスを提供します ○ 危機の発生に備えた体制を強化します			

重点プロジェクト ①子育て先進区の実現 ②地域包括ケア体制の実現 ③活力ある持続可能なまちの実現

基本計画	政策	1 多様性を生かし新たな価値を生み出す	2 地域愛と人のつながりを広げる	3 遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する	4 地域経済活動を活性化	5 東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する	6 子どもの命と権利を守る	7 社会の変化に対応した質の高い教育を実現する	8 まち全体の子育ての力を高める	9 子育て世帯が住み続けたいくなるまちをつくる	10 若者のチャレンジを支援する	11 人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築する	12 生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる	13 誰一人取り残されることのない支援体制を構築する	14 誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成する	15 生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる	16 災害に強く回復力のあるまちづくりを進める	17 時代の変化に対応したまちづくりを進める	18 快適で魅力ある住環境をつくる	19 環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる	20 安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進める																																			
	施策	1 人権と多様性の尊重	2 多文化共生のまちづくりの推進	3 地域における人のつながりと愛着が生まれる環境づくり	4 地域コミュニティを支える人材育成と団体支援の充実	5 地域の自主的な活動の推進と環境づくり	6 誰もが身近に文化芸術に親しめる環境づくり	7 魅力的な地域資源の発掘・発信	8 持続可能な地域経済の成長と働き続けられる環境づくり	9 商店街の活性化支援によるにぎわい空間の創出	10 中野駅周辺における新たな魅力や価値の創出・発信	11 中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導	12 子どもの権利の尊重と理解促進	13 一人ひとりの状況に応じた支援の充実	14 子どもの貧困対策の推進	15 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応	16 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実	17 発達課題や障害のある子どもへの教育の充実	18 特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進	19 これからの学びに対応した学校教育環境の整備	20 地域における子育て支援活動の促進	21 妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実	22 将来を見通した幼児教育・保育の実現	23 特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への一貫した相談支援体制の充実	24 子育て世帯が暮らしやすい住宅・住環境の誘導	25 子育て家庭にとって魅力的な空間・施設等の充実	26 若者が地域や社会で活躍できる環境づくり	27 社会との関わりに課題を抱える若者の相談支援体制の充実	28 高齢者が安心して暮らし続けることができる体制の充実	29 高齢者を支える医療や介護・生活支援サービス等の提供体制の充実	30 多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり	31 区民が主体的に取り組み介護予防の推進	32 権利擁護と虐待防止の推進	33 多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応の推進	34 障害者への相談支援体制と地域生活移行を支える環境の整備	35 生活に困窮している人の自立に向けた支援の充実	36 障害者の就労や社会参画の推進	37 認知症のある人とその家族を支える環境づくり	38 誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組める環境づくり	39 健康的な生活習慣が身につく環境づくり	40 地域医療体制の充実	41 生涯にわたり学び続けることができる環境づくり	42 防災まちづくりの推進	43 災害に強い体制づくり	44 西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちづくりの推進	45 各地域の特性に応じたまちづくりの推進	46 住宅ストックの質の向上、適切な維持管理及び有効活用の推進	47 まちなかの安全性・快適性の向上	48 道路・橋梁の着実な整備・改修	49 多様なニーズに応じた魅力ある公園の整備	50 誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備	51 脱炭素社会の推進と気候変動への適応	52 ごみの減量やリサイクルの推進	53 みどりの保全と創出の推進	54 犯罪や事件・事故の防止と消費生活の安全の推進	55 感染症の予防と拡大防止

区政運営の基本方針 1 対話・参加・協働に基づく区政運営 2 危機の発生に備えた体制の強化 3 社会の変化に対応した質の高い行政サービスの提供

政策とSDGsの関係性

政策と特に関わりの強いSDGsのゴールとの関係性を一覧として示しています。

基本計画の基本目標・政策		人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち					未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち					誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち					安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
SDGsのゴール		多様な価値を生み出す新たな	地域愛と人のつながりを広げる	遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する	地域経済活動を活性化	東京の新たな活力と信にぎわいを世界に発信	子どもの命と権利を守る	社会の変化に対応した質の高い教育を実現	まち全体の子育ての力を高める	子育て世帯が住み続けたいくなるまちをつくる	若者のチャレンジを支援	人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築	生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる	誰一人取り残されず、誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成	誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成	健康を通じて楽しく生涯を通じて環境をつくる	災害に強く回復力のあるまちづくりを進める	時代の変化に対応したまちづくりを進める	快適で魅力ある住環境をつくる	環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる	安全・安心な生活環境を進める	
1	貧困をなくそう						●									●		●				
2	飢餓をゼロに						●		●													
3	すべての人に健康と福祉を								●					●		●						●
4	質の高い教育をみんなに		●			●		●	●	●										●		●
5	ジェンダー平等を実現しよう		●																			●
6	安全な水とトイレを世界中に																					●
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに																					●
8	働きがいも経済成長も				●	●																
9	産業と技術革新の基盤をつくろう					●													●		●	
10	人や国の不平等をなくそう		●			●		●														
11	住み続けられるまちづくりを			●	●		●									●	●	●	●	●	●	●
12	つくる責任つかう責任				●					●											●	●
13	気候変動に具体的な対策を															●	●				●	●
14	海の豊かさを守ろう																					●
15	陸の豊かさを守ろう																					●
16	平和と公正をすべての人に		●					●														●
17	パートナーシップで目標を達成しよう		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

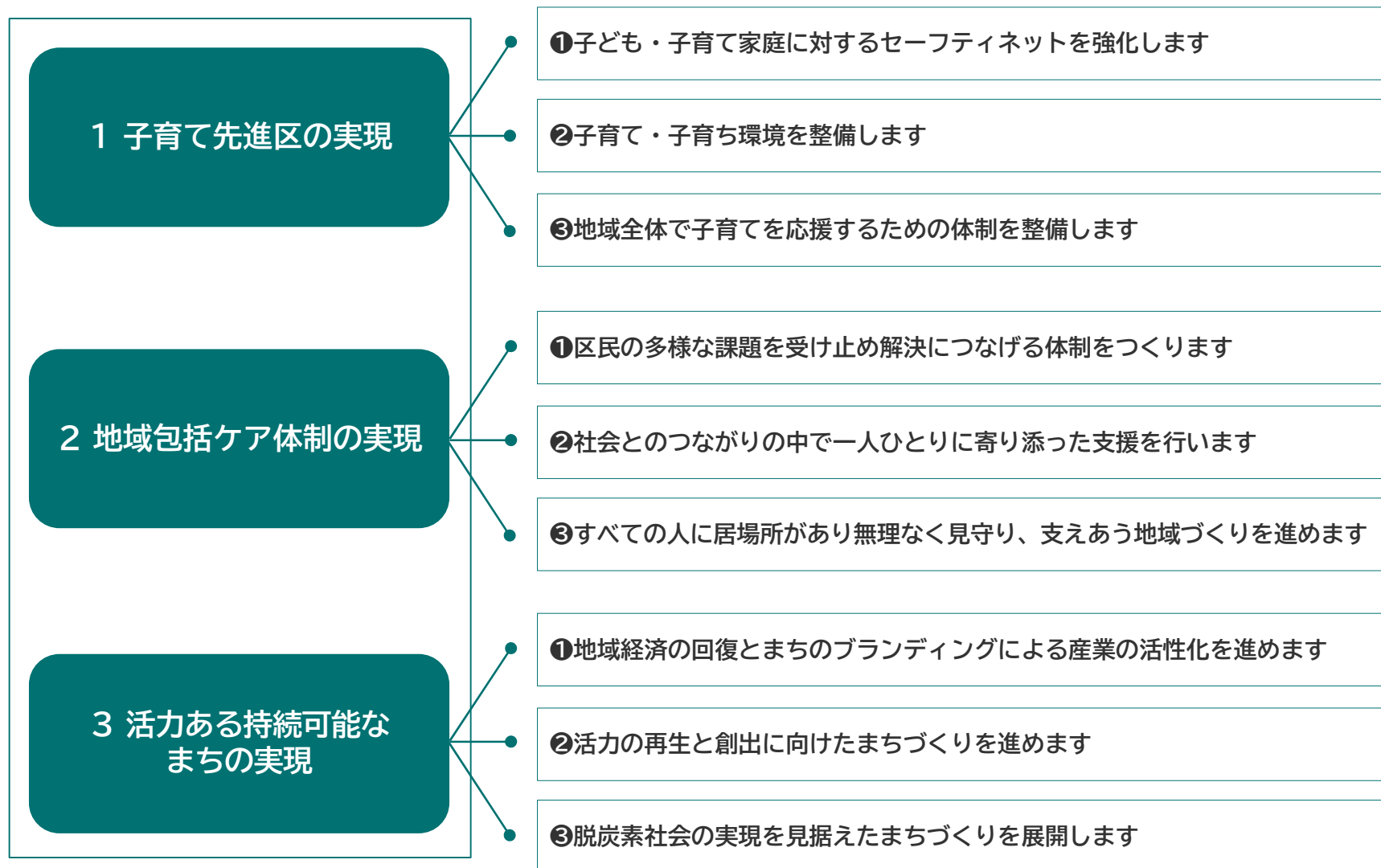
重点プロジェクト（本冊P35～57）

重点プロジェクトとは

- 政策及び施策を効果的かつ効率的に推進していくため、組織横断的かつ重点的に対応することが必要な政策課題に対して重点プロジェクトを設定します。
- 設定にあたっては、早期に対応が必要となる「誰一人取り残さない」という視点と、中長期的に対応が求められる「将来を見据えた投資」の視点を重視しています。
- 限られた財源、人材等を効率良く配分するため、重点プロジェクトとして設定した取組については、組織・人員体制の整備と予算の計上を行います。
- 重点プロジェクトの推進にあたっては、各部の円滑な連携を図るとともに、各プロジェクトの着実な進展と進捗管理を行うため、推進会議を設置し、課題の解決に向けて、効果的かつ効率的にプロジェクトを実行していきます。

重点プロジェクト（本冊P35～57）

重点プロジェクトの構成



重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト1 子育て先進区の実現

① 子ども・子育て家庭に対するセーフティネットを強化します

対応すべき課題

- 児童虐待相談・対応件数の増加
- 新型コロナウイルス感染症による生活環境への影響
- 生まれ育った環境に左右されることのない地域社会の実現

プロジェクトの方向性

- 児童虐待を発生させないための取組の推進
- 現在及び将来を見据えた子どもへの支援

重点ポイント

- 児童虐待を未然に防止する事業を充実し体制を強化します
- 生活が困難な状況にある家庭の子どもを支える環境をつくります

② 子育て・子育て環境を整備します

対応すべき課題

- 魅力ある公園、屋内施設等の充実
- 子育て関連店舗や子育て世帯が暮らしやすい住宅の普及促進
- 教育・学習環境の充実

プロジェクトの方向性

- 子ども・子育て家庭にとって魅力的な環境の整備
- 子どもの学びを地域全体で支える環境の整備

重点ポイント

- 子どものニーズに合わせた環境づくりを進めます
- 地域の協働・協創により学習環境を充実します

重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト1 子育て先進区の実現

③ 地域全体で子育てを応援するための体制を整備します

対応すべき課題

- 「子どもの最善の利益」を考える地域社会の実現
- 子育て関連団体の活性化や新たな活動の担い手の確保
- 地域コミュニティの活性化

プロジェクトの方向性

- 地域全体で子育てを応援するための地域環境の整備

重点ポイント

- 多様な主体の参画により子どもの育成活動を活性化します

SDGsのゴールとの関係



※プロジェクトと特に関わりの強いSDGsのゴールを示しています。

重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト2 地域包括ケア体制の実現

① 区民の多様な課題を受け止め解決につなげる体制をつくります

対応すべき課題

- 8050 問題やダブルケア問題等の課題の複合化への対応
- ひきこもりなど既存の制度の枠組みでは対応しきれない課題への対応
- 支援に結びついていない潜在的な要支援者の発見とアプローチ

プロジェクトの方向性

- 支援を必要とする人を取り残さず支援につなげる体制の充実
- 多機関の協働を通じた地域の課題解決力の向上

重点ポイント

- 支援を必要とする人への相談・コーディネート体制を充実します
- 地域ぐるみで課題を解決するための機能を強化します

② 社会とのつながりの中で一人ひとりに寄り添った支援を行います

対応すべき課題

- 判断能力が十分でない人等の権利擁護の推進
- 生活上の課題を抱えた人の自立に向けた社会とのつながりの構築
- 住宅確保要配慮者に向けたきめ細かいサポート体制の整備
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた在宅療養体制の整備**
- 医療や介護・福祉・生活支援・施設サービスの連携推進

プロジェクトの方向性

- 本人の意思決定に基づく権利擁護の推進
- 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境の整備

重点ポイント

- すべての人の意思と権利を守る地域づくりを進めます
- 支援が必要な人の生活の安定と自立を支える基盤づくりを進めます

重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト2 地域包括ケア体制の実現

③ すべての人に居場所があり無理なく見守り、支えあう地域づくりを進めます

対応すべき課題

- 地域課題と活動主体のマッチング
- 地域での多様な活躍と交流の機会の創出
- 地域における公益的な活動を行う人材・団体への支援

プロジェクトの方向性

- 誰もが地域社会へ参加できる環境と交流の充実
- 地域における見守り・支えあいやネットワークの強化

重点ポイント

- 関心やスキルに応じた多様な社会参加を促進します
- 見守り・支えあい、支援に取り組む主体や手法を充実します

SDGsのゴールとの関係



※プロジェクトと特に関わりの強いSDGsのゴールを示しています。

重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト3 活力ある持続可能なまちの実現

① 地域経済の回復とまちのブランディングによる産業の活性化を進めます

対応すべき課題

- 新型コロナウイルス感染症による地域経済の低迷、雇用の悪化
- 消費の低迷と商店街等における売上げの減少
- 新規創業者数の低迷
- 地域ブランドの形成
- マイクロツーリズムなど身近な地域に対する人々の価値観の変化

プロジェクトの方向性

- 区内中小企業及び商店街各個店へのニーズを捉えた支援による経済の回復
- 魅力的な地域資源を活用した地域ブランドづくり等による産業の活性化

重点ポイント

- 区内事業者の継続的な事業活動を支え育てます
- 商店街の魅力と利便性を向上させ、新たな活力を創出します
- 新たな魅力の発信・活用による地域ブランドづくりを進めます

② 活力の再生と創出に向けたまちづくりを進めます

対応すべき課題

- 各駅周辺及び区全域におけるユニバーサルデザインのまちづくりの推進
- 交通結節機能の強化や、まちの回遊性を高める基盤整備の着実な推進
- 新たなにぎわいの創出や地域商業の活性化による、まちの活力向上
- オープンスペースの確保による防災性向上と地域活性化
- にぎわいや安全・安心を維持向上させる仕組みづくり

プロジェクトの方向性

- 中野駅周辺各地区のまちづくりによる新たな活力とにぎわいの創出
- 西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちの魅力の向上

重点ポイント

- 新たなにぎわいの創出に向けたエリアマネジメントの仕組みを構築します
- 交通結節機能の強化と回遊性・防災性の向上を図ります
- まちの安全性・快適性・利便性の向上を図ります

重点プロジェクト（本冊P35～57）

プロジェクト3 活力ある持続可能なまちの実現

③ 脱炭素社会の実現を見据えたまちづくりを展開します

対応すべき課題

- 区民の環境配慮型行動の促進
- 環境に配慮したまちづくりの推進
- 区有施設や行政活動におけるCO2 排出量の削減

プロジェクトの方向性

- 環境配慮型のライフスタイルへの転換を進めます
- 区有施設や行政活動における脱炭素化を率先して進めます

重点ポイント

- 生活のあらゆる場面における環境配慮行動を促進します
- すべての行政活動における環境負荷を低減します

SDGsのゴールとの関係



※プロジェクトと特に関わりの強い SDGs のゴールを示しています。

政策1 多様性を生かし新たな価値を生み出す（本冊P67～74）

目指すまちの姿

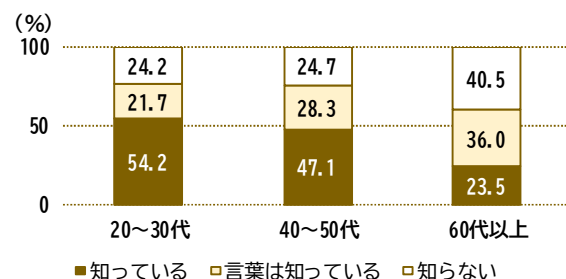
国籍や文化、年齢、障害、性別、性自認や性的指向などにかかわらず、誰もが地域の一員として安心して暮らし、地域の特色や今までにない新たな価値が生まれています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている」と思う区民の割合	55.8%	向上 ➡

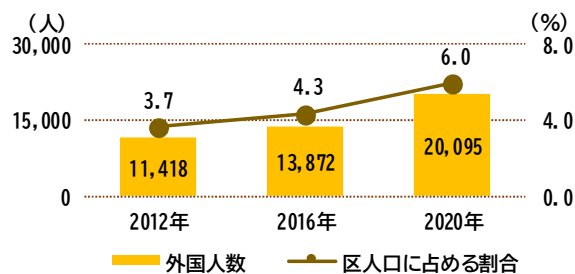
現状データ

ユニバーサルデザインの年代別認知度



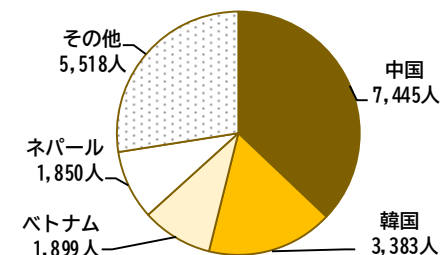
出典：2019中野区区民意識・実態調査

外国人住民数（各年1月1日）



出典：中野区資料



国籍別外国人住民数（2020年1月1日）



出典：中野区資料

政策1 多様性を生かし新たな価値を生み出す（本冊P67～74）



施策1 人権と多様性の尊重

- 指標**
- ユニバーサルデザインの認知度 
 - 社会全体における男女の地位が平等だと思ふ人の割合 

主な取組

- ①人権意識の啓発
- ②性別、性自認・性的指向、国籍・文化等の多様性を認め合う気運の醸成
- ③男女共同参画社会の実現
- ④ユニバーサルデザインの普及啓発・施策改善
- ⑤平和意識の啓発

施策2 多文化共生のまちづくりの推進

- 指標**
- 国際交流や多文化共生事業への満足度 
 - 文化・国際交流事業への外国人の参加割合 

主な取組


- ①外国人住民等が暮らしやすい生活の支援 **及び環境の整備**
- ②多様な文化を受け入れるための意識の啓発
- ③外国人住民等が活躍できる場の創出

政策2 地域愛と人のつながりを広げる（本冊P75～84）

目指すまちの姿

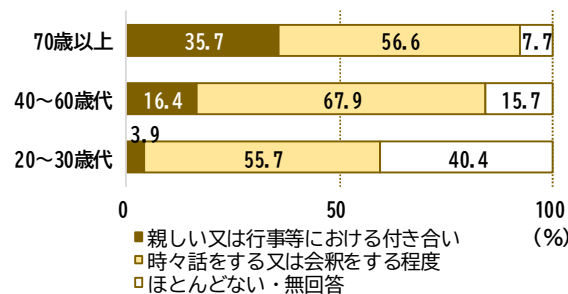
ライフスタイルや関心に応じて、場所や時間を選ばず気軽に地域で関わりを持てるような、ゆるやかなつながりが広がり、それぞれの個性を生かし、地域の課題を住民同士が協力しながら解決しています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「地域愛と人のつながりが広がっている」と思う区民の割合	45.6%	向上 

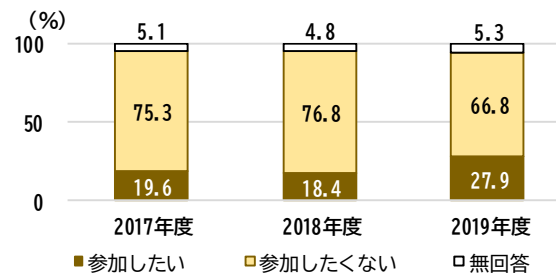
現状データ

近所とのつきあいの程度



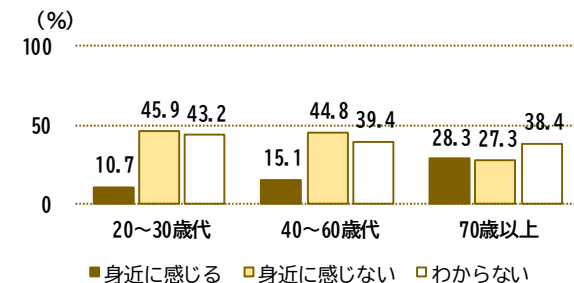
出典：2020年度健康福祉に関する意識調査

町会・自治会活動やボランティア活動に参加したいと思っている区民の割合



出典：中野区区民意識・実態調査



年代別の区民活動センターを身近に感じる割合



出典：2020年度健康福祉に関する意識調査

政策2 地域愛と人のつながりを広げる（本冊P75～84）



施策3 地域における人のつながりと愛着が生まれる環境づくり

指標 ○近所との付き合いがほとんどない区民の割合 
○住民同士の交流の場があると感じている区民の割合 

主な取組

- ①人とまちを知るための情報発信
- ②身近な地域の人と知り合うきっかけづくり
- ③共通の関心を持つ人がつながる場の創出と取組の支援



施策4 地域コミュニティを支える人材育成と団体支援の充実

指標 ○地域活動を行っている区民の割合 
○地域課題の解決に取り組む団体の新規立上げ支援数 

主な取組

- ①地域の課題解決に向けた関係機関の連携の強化
- ②町会・自治会と区との連携の強化
- ③地域における公益的な活動を担う人材・団体に対する支援の強化

施策5 地域の自主的な活動の推進と環境づくり

指標 ○区民活動センターを身近に感じる人の割合 
○区民活動センター集会室利用率（15施設の平均） 

主な取組

- ①区民活動センターを中心とした地域自治・住民活動の促進
- ②区民活動センター集会室の活用促進
- ③誰もが快適に利用できる区民活動センターの環境整備

政策3 遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する（本冊P85～92）

目指すまちの姿

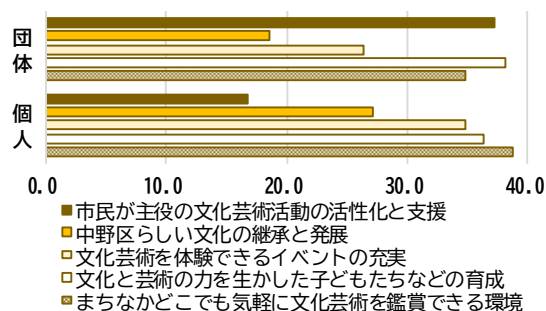
まち全体を舞台に、中野ならではの伝統・文化や豊かな発想から生まれる遊び心ある活動が広がり、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整うことで、多くの人々が訪れ、にぎわいにあふれています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「文化・芸術活動が活発に行われ、にぎわいにあふれている」と思う区民の割合	46.7%	向上 

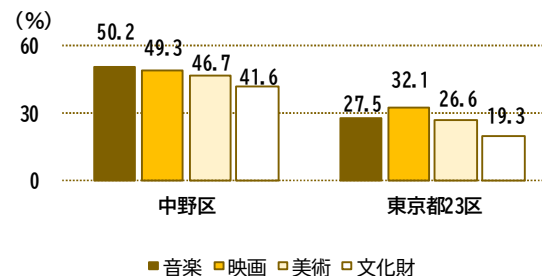
現状データ

区の文化芸術の振興に大切だと思うこと



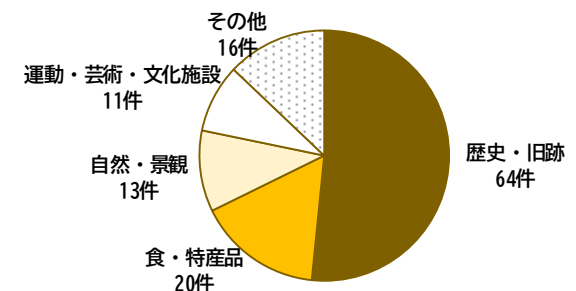
出典：中野区文化芸術に関する調査（2020年3月）

最近1年間に直接鑑賞した文化芸術



出典：中野区文化芸術に関する調査（2020年3月）



中野区認定観光資源の構成



出典：中野区資料

政策3 遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する（本冊P85～92）



施策6 誰もが身近に文化芸術に親しめる環境づくり

- 指標** ○中野区の文化的環境に満足していると思う区民の割合 
○自ら文化・芸術活動を行っている区民の割合 

主な取組

- ①総合的な文化芸術施策の展開
- ②誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり
- ③子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実
- ④区民が主役の文化・芸術活動の活性化
- ⑤歴史・伝統文化の保存・継承・活用

施策7 魅力的な地域資源の発掘・発信

- 指標** ○SNSで発信した地域資源情報のインプレッション数（投稿が表示された回数） 
○イベント・サービス実施、またはマッチングの支援件数 

主な取組


- ①魅力的な地域資源の発掘と発信
- ②イベントの支援と集客力・発信力のあるイベントの創出

政策4 地域経済活動を活性化する（本冊P93～100）

目指すまちの姿

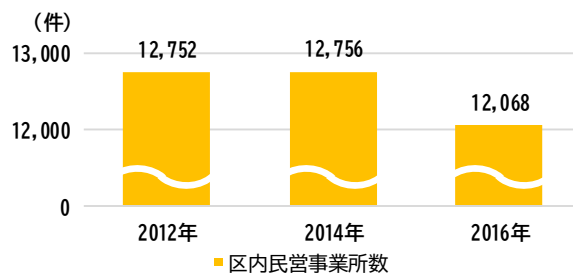
区内産業の持続的な発展や新たな企業の参入などにより、区民の生活をより豊かにする商品・サービスが生まれ、地域経済が活性化しています。商店街は、多彩な社会的役割を果たしつつ、より魅力あるものとなっています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「区内産業の発展や新たな企業・店舗の参入などにより、地域経済が活性化している」と思う区民の割合	44.1%	向上 

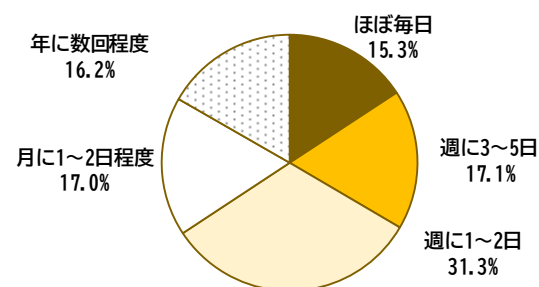
現状データ

区内民営事業所数



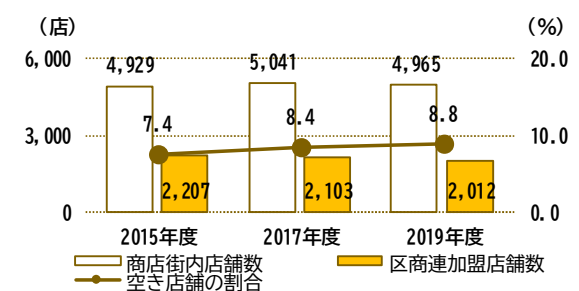
出典：経済センサス－基礎調査、活動調査結果（総務省統計局）

商店街に行く頻度



出典：2019中野区区民意識・実態調査



区内店舗数



出典：中野区商店街連合会資料

政策4 地域経済活動を活性化する（本冊P93～100）



施策8 持続可能な地域経済の成長と働き続けられる環境づくり

- 指標**
- 区内民営事業者数 
 - 区内従業者数 

主な取組

- ①新たなビジネスの創出支援
- ②販路拡大と生産性向上の支援
- ③中小企業者の事業活動・経営の支援
- ④就労・求人支援の拡充

施策9 商店街の活性化支援によるにぎわい空間の創出

- 指標**
- 買い物やサービス等利用のため、商店街へ週1日以上行く人の割合 
 - 区内商店街内の空き店舗数 

主な取組


- ①個店経営支援の充実と商店街組織力の強化
- ②空き店舗活用の促進
- ③商店街におけるデジタル化・IT化の促進
- ④なかの里・まち連携自治体との連携の推進
- ⑤まちづくりと連携した商店街の活性化

政策5 東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する（本冊P101～108）

目指すまちの姿

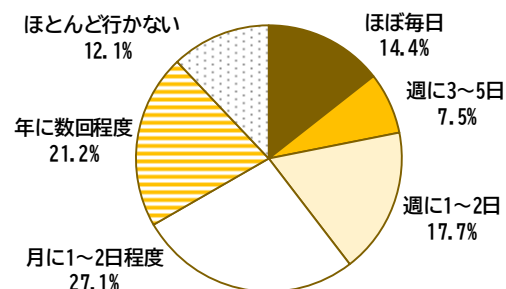
都市機能が集積し、回遊性が向上した中野駅周辺は、多様な経済・文化活動が行われ、区全体を持続可能な活力あるまちへとけん引するとともに、東京23区の西部における新たな活力とにぎわいのシンボルとして、世界に発信されています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「中野駅周辺では活力とにぎわいが生まれている」と思う区民の割合	62.6%	向上 

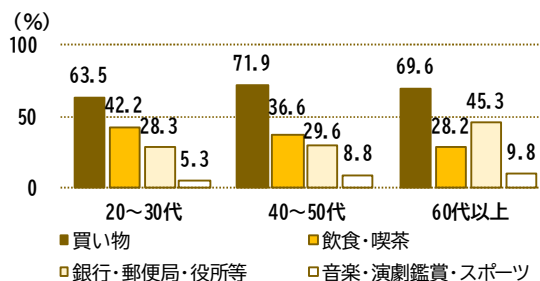
現状データ

中野駅周辺に行く頻度



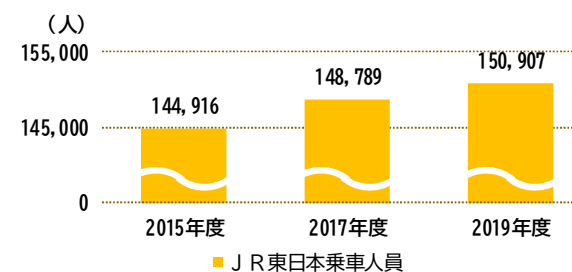
出典：2019中野区区民意識・実態調査

中野駅周辺に行く目的



出典：2019中野区区民意識・実態調査

中野駅の乗車人員（1日平均）





出典：鉄道事業者公表資料

政策5 東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する（本冊P101～108）

施策10 中野駅周辺における新たな魅力や価値の創出・発信

指標



- 中野駅周辺を利用する際に不満を感じている区民の割合 
- 中野駅の乗車人員（1日平均） 

主な取組

- ①中野のシンボルとなる新たな文化・芸術等発信拠点の形成
- ②中野駅周辺におけるエリアマネジメントの仕組み構築
- ③公共空間等を活用した、にぎわい、文化・芸術事業の誘導

施策11 中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導

指標

- 区が特に力を入れていると感じる施策に「駅前などの重点的まちづくり」を選択した区民の割合 
- 中野駅周辺における都市基盤整備（街路事業）の進捗率 

主な取組


- ①中野駅周辺における都市基盤整備
- ②中野駅周辺各地区のまちづくり

政策6 子どもの命と権利を守る（本冊P111～126）

目指すまちの姿

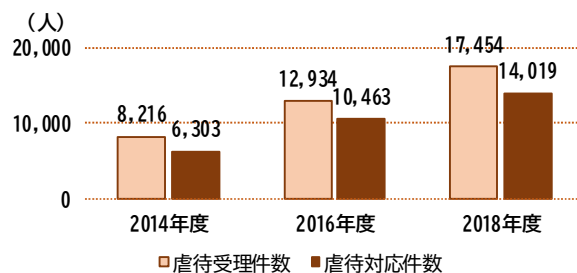
子どもたちは、一人の人間として尊重されています。虐待の防止や学びの支援など、すべての子どもの命と権利を守る体制が整っています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「子どもの命と権利を守る体制が整っている」と思う区民の割合	40.1%	向上 

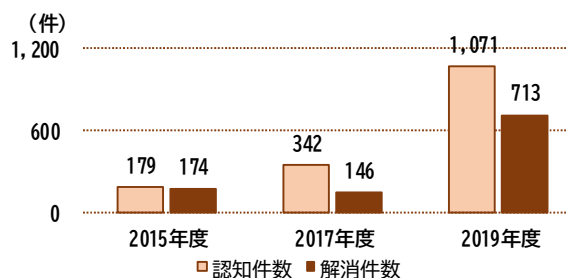
現状データ

児童虐待に関する相談及び対応件数（東京都）



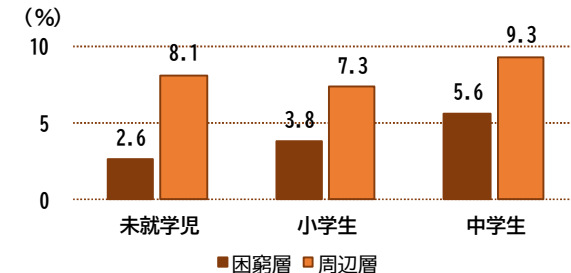
出典：東京都児童相談所のしおり2020

いじめの認知件数及び解消件数



出典：中野区資料



生活困難層の割合



出典：中野区子どもと子育て家庭の実態調査（2019年度）



政策6 子どもの命と権利を守る（本冊P111～126）

施策12 子どもの権利の尊重と理解促進

- 指標**
- 子どもの権利が守られていると思う区民の割合 
 - 「自分のことが好きだ」と思う児童・生徒の割合 



- 主な取組**
- ①子どもの権利擁護の推進
 - ②子どもの権利に係る相談支援の仕組みづくり
 - ③子どもが意見を表明する機会の提供

施策13 一人ひとりの状況に応じた支援の充実

- 指標**
- 「学校は、自他の生命を大切にすることを育てている」と考える保護者の割合 
 - いじめの解消率 



- 主な取組**
- ①いじめの防止等に向けた体制の整備
 - ②不登校児童・生徒への柔軟な支援
 - ③外国籍の子どもの就学促進
 - ④障害や特性に応じた指導・支援

施策14 子どもの貧困対策の推進

- 指標**
- 授業が「よくわからない」と感じる困窮層の子ども（小・中学生）の割合 
 - 「がんばれば、むくわれると思う」と答える子ども（小・中学生）の割合 

- 主な取組**
- ①総合的な子どもの貧困対策の展開
 - ②困難を抱える子どもの学習の機会の確保
 - ③子どもの経験・体験の機会の確保
 - ④子どもと保護者の生活環境の改善に向けた支援

施策15 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応

- 指標**
- 継続的な指導を要する虐待ケースの改善率 
 - 要保護児童対策地域協議会への参加関係機関数 


- 主な取組**
- ①子育て家庭の状況把握と相談支援
 - ②養育支援体制の整備
 - ③虐待対応体制の整備
 - ④社会的養護の充実に向けた体制の整備

政策7 社会の変化に対応した質の高い教育を実現する（本冊P127～142）

目指すまちの姿

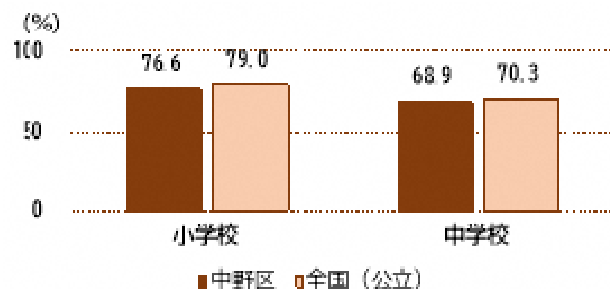
良好な教育環境の中で、子どもたちは、自分と他者を大切にするとともに、より良く生きる力を身に付けています。学校や幼稚園、保育園などの円滑な接続や交流が行われ、家庭や地域と連携し、協働しながら、特色のある教育が生まれています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「質の高い学校教育が行われている」と思う区民の割合	38.9%	向上 

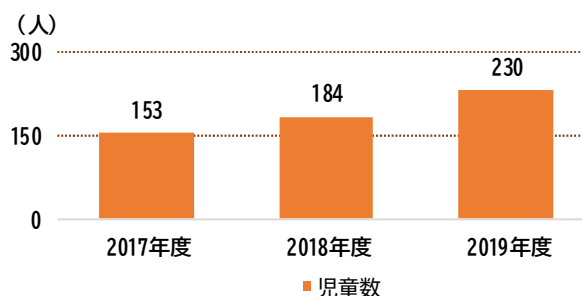
現状データ

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦」している児童・生徒の割合



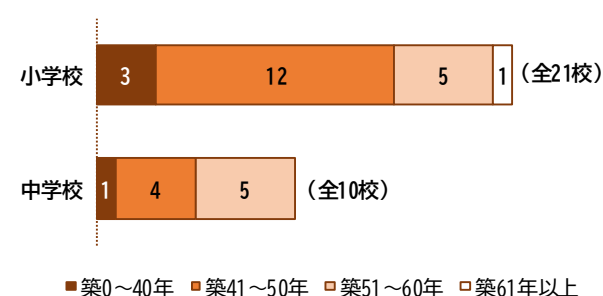
出典：2019年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

小学校特別支援教室利用児童数



出典：中野区資料



区立小・中学校の築年数（2020年度）



出典：中野区資料

政策7 社会の変化に対応した質の高い教育を実現する（本冊P127～142）



施策16 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実

- 指標**
- 「学校は一人ひとりの児童・生徒のよさや可能性を伸ばす教育を行っている」と考える保護者の割合 
 - 「学校・園は他の校種との接続や連携を大切にされた教育を視点に授業・保育改善に努めている」と考える保護者の割合 

主な取組

- ①児童・生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導
- ②運動習慣の定着・体力向上に向けた教育
- ③情報化社会へ対応した教育
- ④国際化へ対応した教育
- ⑤人権教育・道徳教育
- ⑥保育園、幼稚園、小・中学校の連携教育



施策17 発達の課題や障害のある子どもへの教育の充実

- 指標**
- 「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の作成にあたり、学校と話し合うことができた」と思う保護者の割合 
 - 通常の学級に在席する児童・生徒のうち、心理士による特別支援教育巡回相談で対応したケースの割合 

主な取組

- ①特別支援教室における巡回指導
- ②個々の特性や課題に応じた教育
- ③早期からの理解促進と就学相談



施策18 特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進

- 指標**
- 学校の授業等で活用した地域人材の人数 
 - 「学校は、家庭・地域と協力しながら子どもを教育している」と考える保護者の割合 

主な取組

- ①各学校における特色ある教育
- ②地域と学校の連携・協働体制の整備

施策19 これからの学びに対応した学校教育環境の整備

- 指標**
- ICTを活用して児童・生徒を指導することができる教員の割合 
 - 中野区立学校図書館の図書貸出冊数 

主な取組


- ①児童・生徒数に応じた教育環境の整備
- ②学校施設の改築・改修
- ③GIGAスクール構想等に対応したICT環境の整備
- ④児童・生徒の読書環境の充実に向けた体制の整備
- ⑤学校における働き方改革の推進

政策8 まち全体の子育ての力を高める（本冊P143～156）

目指すまちの姿

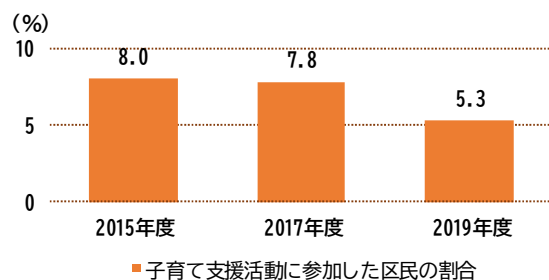
様々な人や団体の活動の活性化により、まち全体の子育ての力が高まっています。家庭の状況に応じた多様なサービスが提供され、安心して子どもを産み、育てられる体制が整っています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度 目標値
「子育て活動が活発であるとともに、子育てしやすい体制が整っている」と思う区民の割合	36.4%	向上 

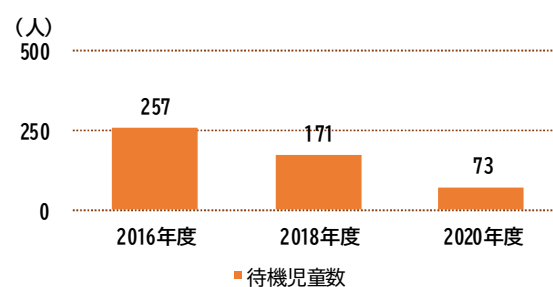
現状データ

子育て支援活動に参加した区民の割合（最近1年間）



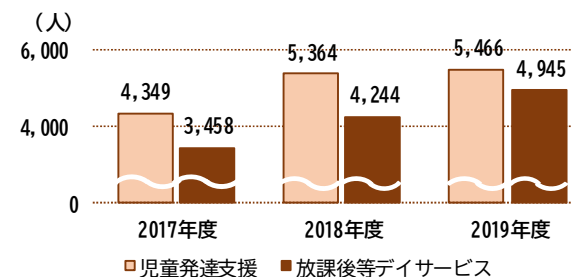
出典：中野区区民意識・実態調査

保育所等利用待機児童数



出典：中野区資料



障害児通所支援事業の延利用人数



出典：中野区資料



政策8 まち全体の子育ての力を高める（本冊P143～156）

施策20 地域における子育て支援活動の促進

- 指標**
- 子育て支援活動に参加した区民の割合 
 - ファミリー・サポート・センター事業における利用マッチング率 



- 主な取組**
- ①地域の子育て支援施設の機能強化
 - ②子育て関連団体への支援の強化
 - ③地域の相互援助活動の推進

施策21 妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実

- 指標**
- 妊産婦に対する妊産期相談支援事業実施の割合 
 - 子育てサービスを必要に応じて利用できた割合 



- 主な取組**
- ①妊娠・出産・子育てトータル支援
 - ②多様なニーズに応じた子育てサービス・情報提供体制の整備
 - ③育児支援を特に必要とする家庭への支援

施策22 将来を見通した幼児教育・保育の実現

- 指標**
- 保育所等利用待機児童数 
 - 「中野区保育の質ガイドライン」を知っている保護者のうち、ガイドラインが教育・保育に役立てられていると感じる保護者の割合 

- 主な取組**
- ①保育サービスの提供体制の整備
 - ②就学前教育の質の向上
 - ③将来を見据えた区立幼稚園・保育園の運営

施策23 特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への一貫した相談支援体制の充実

- 指標**
- 「日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている」と考える保護者の割合 
 - 区立障害児通所支援施設における保護者を支援するプログラムの開催回数 


- 主な取組**
- ①一貫した地域相談支援体制の整備
 - ②発達の課題や障害のある子どもに関する理解の促進
 - ③医療的ケアを必要とする子どもへの支援

政策9 子育て世帯が住み続けたくなくなるまちをつくる（本冊P157～164）

目指すまちの姿

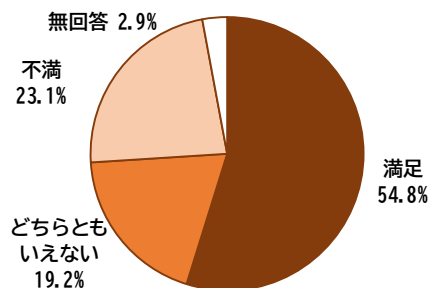
子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちづくりが進んでいます。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「子育て世帯が住み続けたくなくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	39.6%	向上 

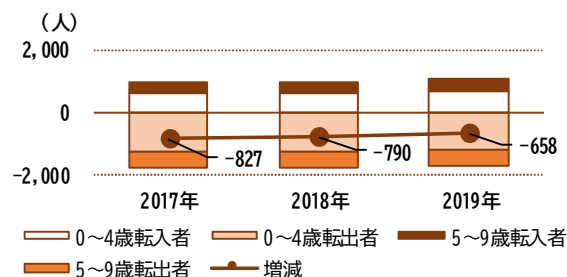
現状データ

住宅の環境の総合的な満足度



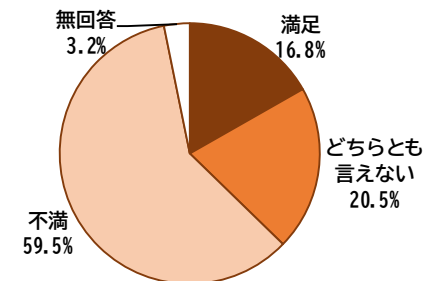
出典：中野区子どもと子育て家庭の実態調査（2019年度）

0～9歳までの転入者・転出者数



出典：中野区資料



「遊び・憩いの環境」に対する保護者の満足度



出典：中野区子どもと子育て家庭の実態調査（2019年度）

政策9 子育て世帯が住み続けたくなるまちをつくる（本冊P157～164）



施策24 子育て世帯が暮らしやすい住宅・住環境の誘導

- 指標**
- 区内の住宅の環境に満足している子育て家庭の割合 
 - 誘導居住面積水準以上の住宅に住まう子育て世帯の割合 

主な取組

- ①子育て世帯向け住宅の供給促進と住環境の整備
- ②居住支援体制の推進
- ③子育て世帯に向けた住環境に関する情報発信

施策25 子育て家庭にとって魅力的な空間・施設等の充実

- 指標**
- 保護者から見た「遊び・憩いの環境」の総合的な満足度 
 - 子育て応援とうきょうパスポート協賛店舗数 

主な取組


- ①子どもの遊び・体験の場の確保
- ②放課後の児童の居場所の確保
- ③乳幼児親子の居場所の確保
- ④子育て家庭にやさしい店舗の充実

政策10 若者のチャレンジを支援する（本冊P165～172）

目指すまちの姿

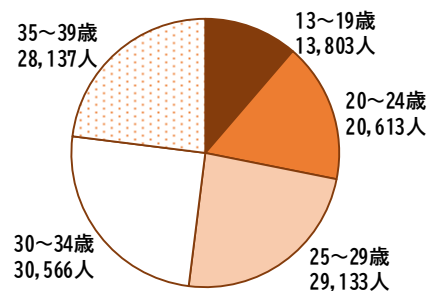
若者は、幅広い交流や様々な活動の機会などを通じて、チャレンジしながら成長しています。一人ひとりの課題の解決に向けて支える体制が整っています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「若者がチャレンジできる環境が整っている」と思う区民の割合	25.7%	向上 

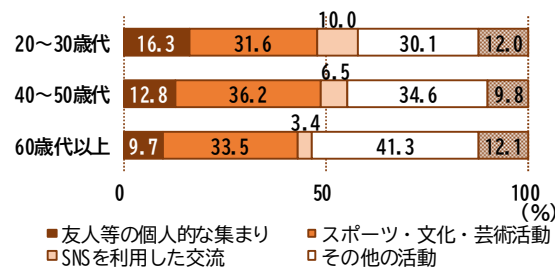
現状データ

若者の人口構成（2020年1月1日）



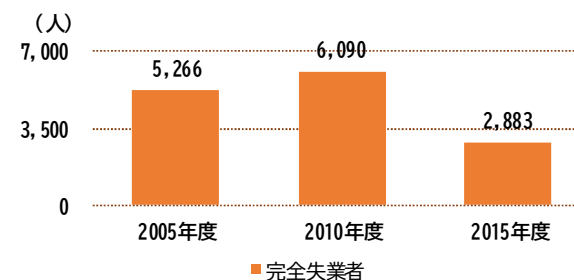
出典：中野区資料

今後参加したい主な地域活動



出典：2019中野区区民意識・実態調査



15～39歳の完全失業者数（中野区）



出典：国勢調査



政策10 若者のチャレンジを支援する（本冊P165～172）

施策26 若者が地域や社会で活躍できる環境づくり

- 指標**
- 地域活動やNPOなどの活動に参加した20歳代、30歳代の割合 
 - 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある中学生の割合 

- 主な取組**
- ①総合的な若者施策の推進
 - ②中高生の活動の機会や場の確保
 - ③大学生等の地域活動の促進

施策27 社会との関わりに課題を抱える若者の相談支援体制の充実

- 指標**
- 子ども・若者支援センター及びすこやか福祉センターにおける若者相談対応件数(実人員) 
 - 若者相談対応により課題の解決に至った件数(実人員) 


- 主な取組**
- ①若者の自立を支援する仕組みづくり
 - ②若者への相談支援体制の整備
 - ③若者の自立とその家族への支援

政策11 人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築する(本冊P175~181)

目指すまちの姿

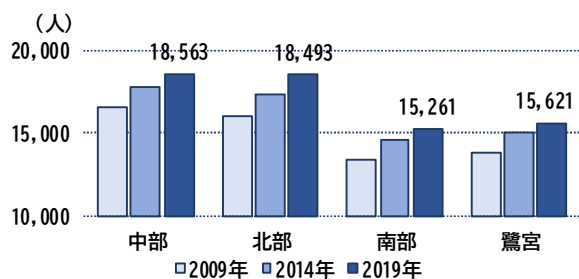
高齢者が、地域のつながりやICTの活用による見守り・支えあいと、公的サービスをはじめとした包括的な介護・福祉サービスや医療に支えられるとともに、最期まで自分らしく生きることができるオール中野の体制が整っています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「高齢期も地域で安心して過ごすことができる体制が整っている」と思う区民の割合	38.1%	向上 

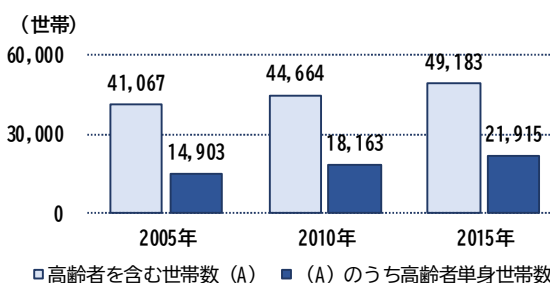
現状データ

高齢者人口（すこやか福祉センター圏域別）



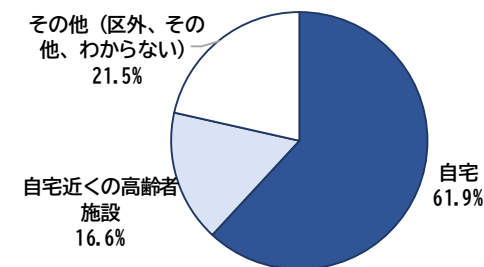
出典：中野区資料

高齢者を含む世帯数と高齢者単身世帯数



出典：国勢調査

介護が必要になった場合に介護を受けたい場所



出典：2020年度高齢福祉・介護保険サービス意向調査

政策11 人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築する(本冊P175~181)

施策28 高齢者が安心して暮らし続けることができる体制の充実

- 指標**
- 「何かあったときに相談する相手がいる」と思う高齢者の割合 ▲
 - 地域包括支援センターを身近に感じる人の割合(50歳代以上) ▲

- 主な取組**
- ①地域の見守り・支えあいの推進
 - ②高齢者の相談支援体制の整備

施策29 高齢者を支える医療や介護・生活支援サービス等の提供体制の充実

- 指標**
- 主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合 ▲
 - 「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合 ▲

- 主な取組**
- ①区民それぞれが望む在宅療養生活の実現
 - ②多様な介護サービスの提供に向けた体制づくり
 - ③在宅から入所まで高齢者を支える基盤整備

政策12 生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる(本冊P183~189)

目指すまちの姿

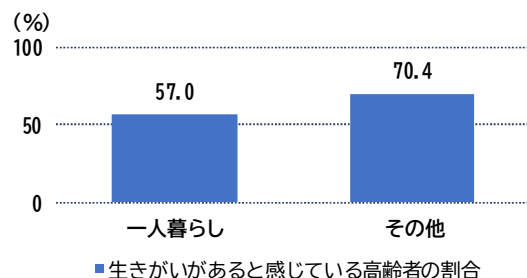
いくつになっても、就労や趣味、社会貢献など、社会とのつながりを通じて、第2、第3の生きがいを見つけ、生涯現役で生き生きと活躍しています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「生涯現役で活躍できる環境が整っている」と思う区民の割合	29.7%	向上 

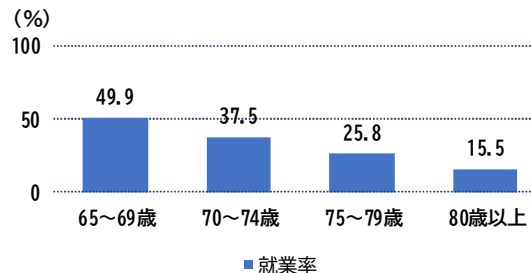
現状データ

生きがいがあると感じている高齢者の割合



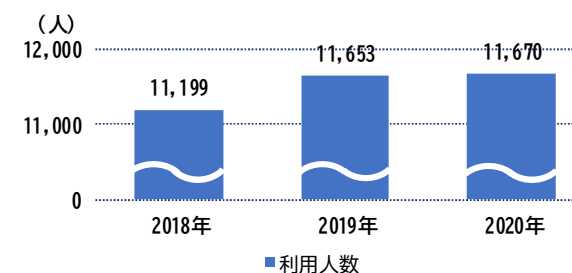
出典：2020年度高齢福祉・介護保険サービス意向調査

65歳以上の就業率



出典：2015年国勢調査

介護サービス利用者数



出典：中野区資料

政策 1 2 生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる(本冊P183~189)

施策 3 0 多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり

指標 ○収入のある仕事を週1回以上している65歳以上の区民の割合 ▲
○60歳代以上における地域活動を行っている割合 ▲

主な取組 ①就労や地域活動を通じた社会参加の促進
②孤立を防ぐつながり・交流機会の充実

施策 3 1 区民が主体的に取り組む介護予防の推進

指標 ○住民主体サービスを提供する地域団体等の数 ▲
○体操や軽運動など介護予防のための通いの場への参加状況 ▲

主な取組 ①区民・団体が主体的に提供する介護予防の取組の促進
②介護予防に取り組む意識の啓発

政策13 誰一人取り残されることのない支援体制を構築する(本冊P191~205)

目指すまちの姿

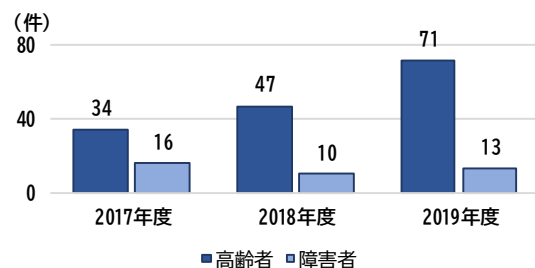
障害や生活困窮、生活上の複合的な課題などを抱えている人が、適切な相談や支援につながり、誰一人取り残されることのない体制が整っています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「誰一人取り残されることのない支援体制が整っている」と思う区民の割合	34.0%	向上 

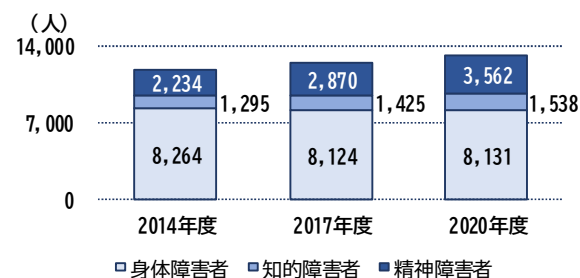
現状データ

虐待通報・届出件数



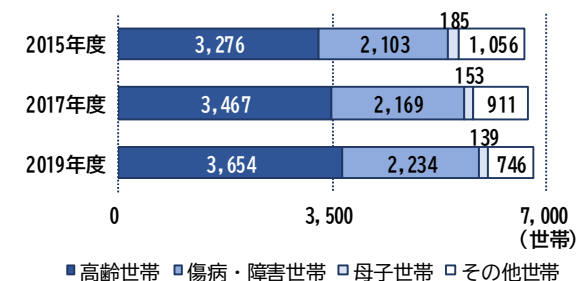
出典：中野区資料

障害者手帳所持者数



出典：中野区資料

世帯類型別被保護世帯数



出典：中野区資料

政策13 誰一人取り残されることのない支援体制を構築する(本冊P191~205)

施策32 権利擁護と虐待防止の推進

- 指標**
- 「成年後見制度」という言葉や仕組みを知っている人の割合 ▲
 - 養護者による高齢者・障害者虐待の通報・届出に対応できた割合 ▲

主な取組

- ①権利擁護のための体制の整備
- ②虐待防止に向けた体制の整備

施策33 多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応の推進

- 指標**
- アウトリーチチームが対応して適切に支援に上げた割合 ▲
 - 自殺死亡率(10万人対) ▲

主な取組

- ①要支援者の早期発見と継続的な見守り・支援
- ②自殺を未然に防ぐ体制の整備
- ③犯罪被害者等を支える地域づくり
- ④再犯防止に向けた関係機関との連携推進

施策34 障害者への相談支援体制と地域生活移行を支える環境の整備

- 指標**
- 障害福祉サービスを利用していない理由のうち「サービスを知らない」「利用方法がわからない」の割合 ▲
 - 入所施設から地域移行した障害者の数(2015年度以降の累積数) ▲

主な取組

- ①安心して地域生活が送れる仕組みづくり
- ②関係機関との連携体制と相談支援体制の強化
- ③福祉人材の確保・育成
- ④入所施設等からの地域生活への移行と地域生活の継続支援
- ⑤障害福祉施設の整備・誘導

施策35 生活に困窮している人の自立に向けた支援の充実

- 指標**
- 生活保護から自立した世帯数 ▲
 - 生活困窮者を対象とした就労支援を受け就労した割合 ▲

主な取組


- ①生活困窮者に対する包括的な自立支援の推進
- ②被保護者の就労・定着支援
- ③健康管理のための支援

政策14 誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成する(本冊P207~214)

目指すまちの姿

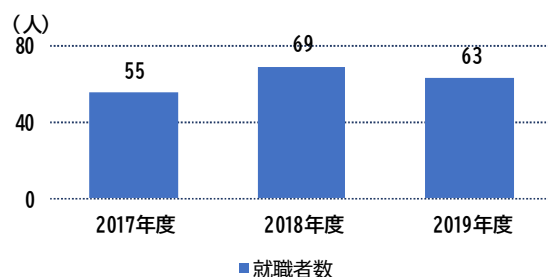
障害や認知症の有無など本人が置かれている状況にかかわらず、個々の特性や強みを生かした就労や社会参画、様々な交流や活動などを通じて、自分らしく輝いています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「障害や認知症の有無などに関わらず自分らしく暮らせる環境が整っている」と思う区民の割合	29.4%	向上 

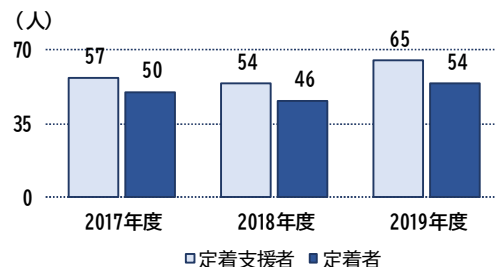
現状データ

就労支援センターの支援による就職者数



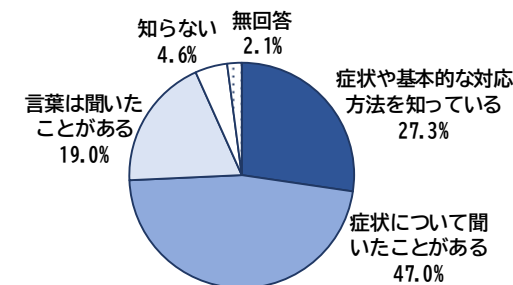
出典：中野区資料

就職した者のうち、定着支援を受けて1年後も就労が継続している者



出典：中野区資料



認知症について理解している区民の割合



出典：2020年度健康福祉に関する意識調査

政策14 誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成する(本冊P207~214)



施策36 障害者の就労や社会参画の推進

- 指標**
- 一般就労による定期的な収入のある障害のある人の割合(15歳以上65歳未満) 
 - 就労支援センターによる就職者数 

主な取組

- ①関係機関と連携した障害者の就労支援
- ②就労意識の向上と体験・訓練の場の創出
- ③障害者就労施設等における受注機会・販路の拡大
- ④障害者に対する理解の促進と交流の機会の充実

施策37 認知症のある人とその家族を支える環境づくり

- 指標**
- オレンジカフェ等認知症の人やその家族が集える場所の設置数 
 - 認知症の症状や基本的な対応方法を知っている人の割合 

主な取組

- ①認知症バリアフリーに向けた意識の啓発
- ②認知症の人を支える地域の相談支援体制等の整備
- ③認知症の人やその家族・支援者の居場所づくり

政策15 生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる(本冊P215~228)

目指すまちの姿

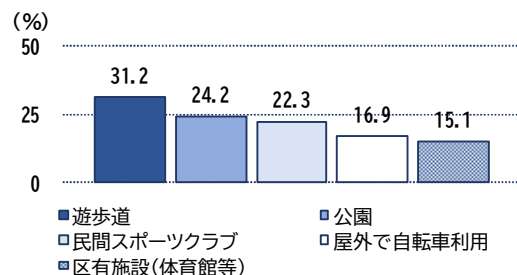
中野で暮らすうちに自然と健康的なライフスタイルが身に付く環境が整うとともに、子どもから高齢者まで、自分が関心のある運動・スポーツや学びなどに楽しみながら取り組んでいます。

成果指標と目標値

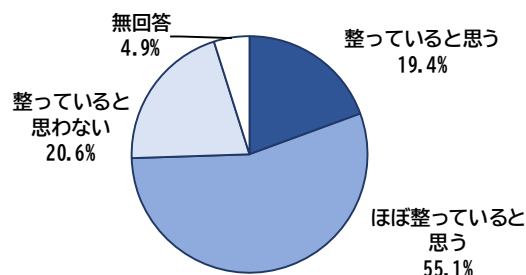
成果指標	現状値	2025年度目標値
「運動や学びなど健康で文化的な生活を送ることができる」と思う区民の割合	36.9%	向上 

現状データ

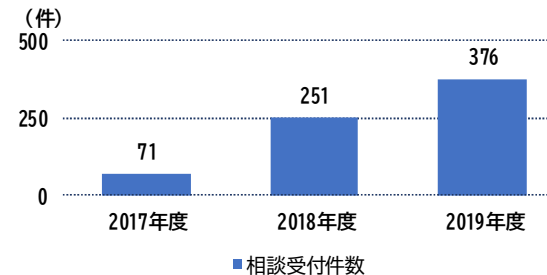
運動・スポーツを行う場所



病状に応じた適切な医療が受けられる環境が整っていると思う人の割合



生涯学習活動に関する相談受付件数



出典：2020年度健康福祉に関する意識調査

出典：2020年度健康福祉に関する意識調査

出典：中野区資料

政策15 生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる(本冊P215~228)

施策38 誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組める環境づくり

- 指標**
- 1回30分以上の運動を週に1~2回以上行っている区民の割合
 - 障害者スポーツ事業、普及啓発事業等の参加者数

- 主な取組**
- ①誰もが運動・スポーツに取り組む環境づくり
 - ②スポーツを通じたコミュニティの形成
 - ③子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進
 - ④区内スポーツ団体等の支援

施策39 健康的な生活習慣が身につく環境づくり

- 指標**
- 自身の健康状態が「よい」と思う区民の割合
 - 食べ物や食生活に関して栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている人の割合

- 主な取組**
- ①健康的な生活習慣の定着支援
 - ②データ分析や健診等による健康づくりの支援
 - ③食育の推進

施策40 地域医療体制の充実

- 指標**
- 地域の救急医療体制が整っていると思う人の割合
 - かかりつけ医を決めている区民の割合

- 主な取組**
- ①地域での医療提供の充実
 - ②保健所機能の強化
 - ③薬局等における安全管理体制の充実

施策41 生涯にわたり学び続けることができる環境づくり

- 指標**
- 「区内において様々な学習機会が充実している」と感じる区民の割合
 - 区立図書館における児童図書貸出冊数


- 主な取組**
- ①生涯学習の機会の充実
 - ②子どもの読書環境の充実
 - ③図書サービスの機能の強化

政策16 災害に強く回復力のあるまちづくりを進める(本冊P231~240)

目指すまちの姿

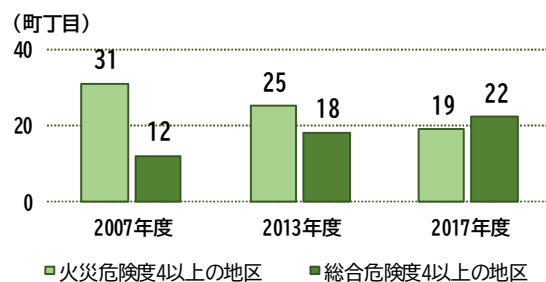
防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、被害を最小限にとどめ、早急に復旧できる回復力のあるまちづくりが進んでいます。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「災害に強いまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	42.1%	向上 

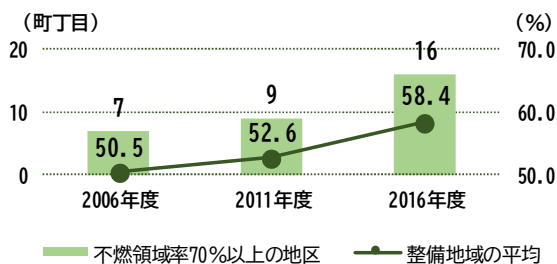
現状データ

危険度ランク4以上の地区



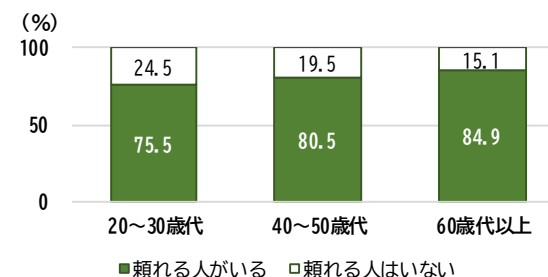
出典：地震に関する地域危険度測定調査(東京都)

不燃領域率



出典：土地利用現況調査(東京都)



地域で頼れる人の有無



出典：2019中野区区民意識・実態調査

政策 1 6 災害に強く回復力のあるまちづくりを進める(本冊P231~240)



施策 4 2 防災まちづくりの推進

指標 ○不燃領域率(防災まちづくり事業対象地区) 
○住宅の耐震化率 

主な取組

- ①木密事業による防災まちづくり
- ②不燃化特区を活用した防災まちづくり
- ③木造住宅密集地域における不燃化の促進
- ④耐震化の推進
- ⑤地域特性を生かした防災まちづくり

施策 4 3 災害に強い体制づくり

指標 ○地域自主訓練等参加人員 
○飲料水・食料を備蓄している区民の割合 

主な取組

- ①防災施設の機能強化と様々な想定に基づいた避難環境の整備
- ②水害対策の推進
- ③情報伝達手段の充実と共有環境の整備
- ④避難行動要支援者への避難支援
- ⑤地域における防災行動力の向上
- ⑥災害廃棄物処理を円滑に進めるための体制整備

政策17 時代の変化に対応したまちづくりを進める(本冊P241~248)

目指すまちの姿

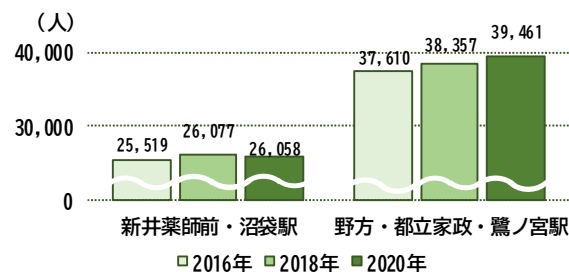
地区の特性に応じたまちづくりや連続立体交差事業の進展などにより、駅周辺を核としたまちの安全性・快適性・利便性が向上し、時代の変化に対応したまちづくりが進んでいます。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度 目標値
「西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している」と思う区民の割合	41.6%	向上 ➔

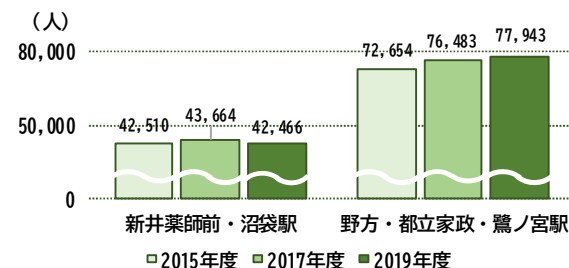
現状データ

西武新宿線5駅周辺の居住人口(各年1月1日)



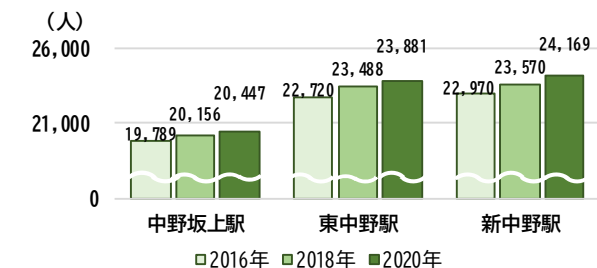
出典：中野区資料

西武新宿線5駅の1日乗降客数



出典：鉄道事業者公表資料

中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住人口(各年1月1日)



出典：中野区資料

政策 1 7 時代の変化に対応したまちづくりを進める(本冊P241~248)

施策 4 4 西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちづくりの推進

指標 ○西武新宿線5駅周辺の居住人口 ▲
○西武新宿線5駅の1日乗降客数 ▲

主な取組

- ①新井薬師前・沼袋駅周辺のまちづくり
- ②新井薬師前・沼袋駅周辺の基盤整備
- ③西武新宿線連続立体交差事業を契機とした防災まちづくり
- ④野方以西各駅周辺地区のまちづくり
- ⑤野方以西各駅周辺の基盤施設の整備
- ⑥新たな創出空間の活用

施策 4 5 各地区の特性に応じたまちづくりの推進

指標 ○中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住人口 ▲
○中野坂上駅、東中野駅、新中野駅の1日乗降客数 ▲

主な取組

- ①交流拠点のまちづくり
- ②区民による主体的なまちづくり

政策18 快適で魅力ある住環境をつくる(本冊P249~265)

目指すまちの姿

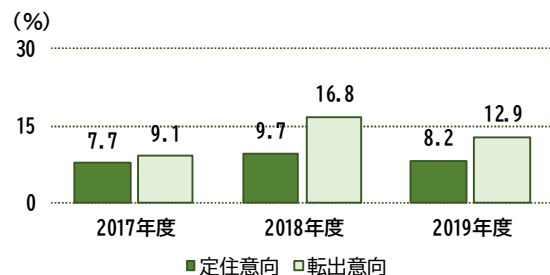
居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境などが整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいます。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度目標値
「快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる」と思う区民の割合	45.4%	向上 

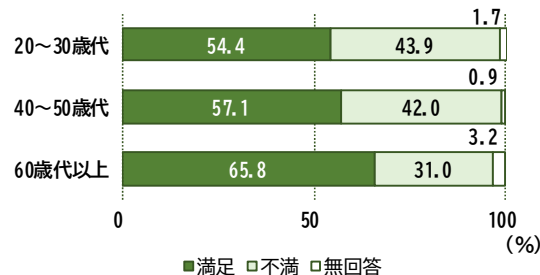
現状データ

住まい周辺の生活環境における「景観や街並みについて」の評価



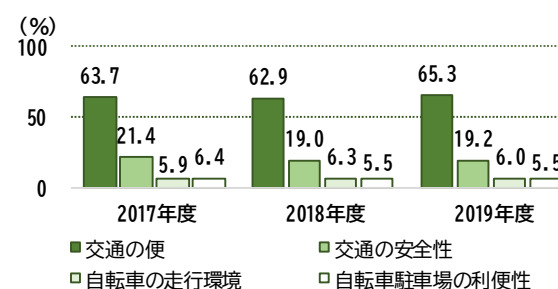
出典：中野区区民意識・実態調査

区内の公園や広場についての満足度



出典：2019中野区区民意識・実態調査



交通に関する生活環境についての満足度



出典：中野区区民意識・実態調査

政策18 快適で魅力ある住環境をつくる(本冊P249~265)



施策46 住宅ストックの質の向上、適切な維持管理及び有効活用の推進

指標 ○定住意向理由として「家の広さなど居住環境がよい」を選択した区民の割合 
○空き家棟数 

主な取組

- ①住宅ストックの質の向上
- ②マンションの適正管理
- ③居住支援体制の推進
- ④空き家の適正管理



施策47 まちなかの安全性・快適性の向上

指標 ○定住意向理由として「自然や街並みがよい」を選択した区民の割合 
○住まい周辺の生活環境について、「景観や街並みについて」を「よい評価」とした区民の割合 

主な取組

- ①地域特性を生かした土地利用の推進
- ②良好な住環境を構築する景観形成の推進
- ③バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり



施策48 道路・橋梁の着実な整備・改修

指標 ○道路舗装改修率 
○無電柱化優先整備路線の進捗率 

主な取組

- ①道路のバリアフリー化の促進
- ②無電柱化の促進
- ③橋梁の計画的な修繕



施策49 多様なニーズに応じた魅力ある公園の整備

指標 ○公園や広場の利用者満足度 
○公園や広場の利用率 

主な取組

- ①公園施設の適切な配置・改修
- ②誰もが快適に利用できる環境づくりの推進
- ③新たな公園運営方法の創出

施策50 誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備

指標 ○区内移動の快適性に関する満足度 
○駅周辺の自転車放置率 

主な取組


- ①総合的な交通施策の展開
- ②多様な移動環境の整備
- ③適正な需要を踏まえた自転車駐車場の再編整備

政策19 環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる(本冊P267~277)

目指すまちの姿

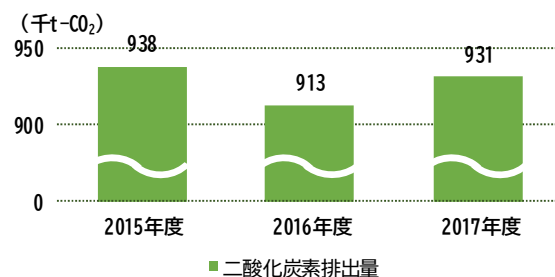
環境負荷の少ないライフスタイルや緑化推進などが、区民の生活や企業活動に浸透し、脱炭素のまちづくりが進んでいます。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度 目標値
「環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している」と思う区民の割合	28.9%	向上 

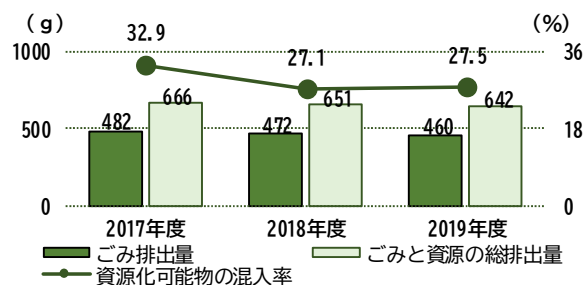
現状データ

中野区内の二酸化炭素排出量



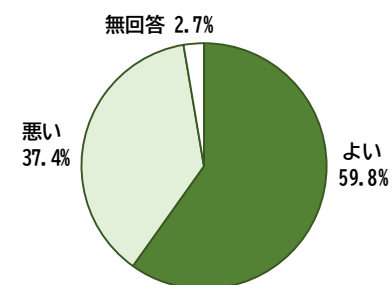
出典：オール東京62市区町村共同事業提供資料

区民1人1日あたりのごみ等排出量と燃やすごみの中の資源化可能物の混入率



出典：中野区資料



住まい周辺の生活環境における「みどりの豊かさ」の評価



出典：2019中野区区民意識・実態調査

政策 19 環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる(本冊P267~277)



施策 5 1 脱炭素社会の推進と気候変動への適応

指標 ○区内の二酸化炭素排出量 
○環境に配慮した取組を行っている区民の割合 

主な取組

- ①脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策の推進
- ②区有施設や行政活動における脱炭素化の推進
- ③環境配慮行動を促す意識の啓発
- ④環境に関する連携・協働に向けたネットワークづくり



施策 5 2 ごみの減量やリサイクルの推進

指標 ○区民1人1日あたりのごみ排出量 
○燃やすごみの中の資源化可能物の混入率 

主な取組

- ①ごみ減量・リサイクルの推進
- ②資源とごみの正しい分別・排出の推進
- ③食品ロス削減の推進

施策 5 3 みどりの保全と創出の推進

指標 ○みどりの豊かさに対する区民の満足度 
○緑被率・みどり率 

主な取組


- ①みどりのネットワークの構築
- ②質の高いみどりの確保・創出
- ③緑化の推進に向けた意識の啓発
- ④保護指定樹木等の所有者への支援
- ⑤都市生態系に関する対策の推進

政策20 安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進める(本冊P279~288)

目指すまちの姿

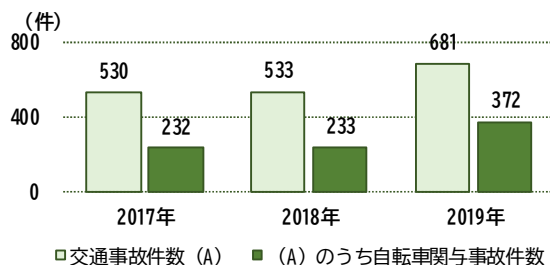
関係機関・地域の連携により、犯罪や事件・事故がなく、良好な生活環境が保たれるとともに、区民の防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや、行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られています。

成果指標と目標値

成果指標	現状値	2025年度 目標値
「安全・安心な生活環境と防犯まちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	45.3%	向上 

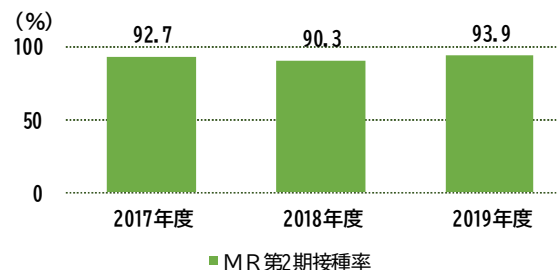
現状データ

交通事故発生件数



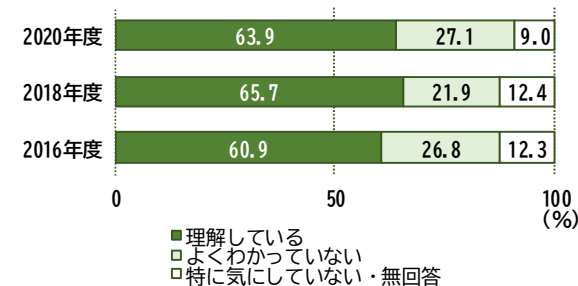
出典：東京都資料

MR（麻しん・風しん）第2期予防接種率



出典：中野区資料

食中毒に関する認識



出典：健康福祉に関する意識調査

政策20 安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進める(本冊P279~288)

施策54 犯罪や事件・事故の防止と消費生活の安全の推進

指標 ○刑法犯認知件数 ▲
○自転車関与事故件数 ▲

主な取組 ①特殊詐欺の未然防止に向けた意識の啓発
②安全・安心な消費生活の確保
③交通安全対策・啓発活動の促進
④地域の防犯・見守りの強化

施策55 感染症の予防と拡大防止

指標 ○感染症の予防を心がけている人の割合 ▲
○区民健診(長寿健診)の受診率 ▲

主な取組 ①感染症予防に向けた意識の啓発
②感染症の拡大防止策の強化
③感染症対策に係る関係機関の資質の向上

施策56 安全・安心な生活環境の確保

指標 ○食中毒について、関心があり十分理解している人の割合 ▲
○旅館業監視施設のうち、指摘事項があった施設の割合 ▲

主な取組 ①食の安全・安心の確保
②動物等との共生及び健康被害の防止
③宿泊施設の監視指導
④生活環境の維持のための対策

区政運営の基本方針（本冊P289～299）

1 対話・参加・協働に基づく区政運営

区民と区、区民同士の対話、区民の区政への主体的な参加、地域課題の解決に向けた協働を重視して、政策形成、組織運営、財政運営に取り組むとともに、取組と検証を積み重ねて着実に成果を上げていくマネジメントを実施していきます。

2 危機の発生に備えた体制の強化

大規模災害や感染症拡大など非常時における危機管理体制を充実し、区政や地域が機能不全に陥らないよう、事業継続計画（BCP）の継続的な改善などリスクマネジメントの強化を図っていきます。

3 社会の変化に対応した質の高い行政サービスの提供

行政サービスのデジタル化やワンストップ化を推進します。あわせて、区の事業や施設等の管理・運営コストの最適化を進めるなど、区民にとって質の高い行政サービスの提供を目指していきます。

中野区基本計画（改定素案）
【説明資料】

2021年度 ▶ 2025年度（令和3年度～令和7年度）

令和3年（2021年）6月

編集・発行 中野区 企画部 企画課
〒164-8501 東京都中野区中野四丁目8番1号
電話 03-3389-1111（代表）
<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>



区ホームページはこちらから ▶